



アイ
アイ

2024年3月期

決算プレゼンテーション資料

①	トップメッセージ	03-08
②	アイフルグループの『変化』	09-13
③	連結決算概況	14-24
④	アイフル決算概況	25-33
⑤	ライフカード決算概況	34-38
⑥	グループ各社決算概況	39-43
⑦	参考資料	44-48



① トップメッセージ

トップメッセージ（2024年3月期総括）

好調なマーケットを背景に宣伝投資による中期的な利益水準が向上

- 無担保ローンの新規顧客獲得が好調、残高・トップラインも2桁成長
- ビジネスモデル上の先行費用である貸倒関連費用や宣伝投資が増加
- 一時的に営業利益が押し下げられたものの、中期的な利益水準は向上
- 業容拡大と収益安定性の評価により信用格付けも向上
- IT企業への変革に向け、SES企業のM&A、エンジニア採用を継続

新規獲得件数（アイフル）

338千件（yoy +**12.4%**）

貸倒関連費用

525億円（+**45.9%**）

営業債権残高

11,789億円（+**16.1%**）

経常利益

220億円（▲**9.7%**）

営業収益

1,631億円（+**13.2%**）

IT人材

247人（+**137**人）

トップメッセージ（中期経営計画について）

主力事業の利益を将来成長に期待できる事業へ投資、持続成長を実現

- 中期経営計画（2025/3～2027/3）を開示
- 本計画期間は、主力のローン・保証・個別信用購入あっせん事業の利益水準を引き上げ
- 主力事業で捻出した利益は、あらたな成長ステージに向けたM&Aへ投下

営業債権残高(27/3)

1兆5,900億円（24/3比+34.9%）

営業収益(27/3)

2,180億円（24/3比+28.8%）

経常利益(27/3)

420億円（24/3比+90.9%）

M&A投資

3年 最大600億円

実質ROE(27/3)*

11.4%（24/3比+3.4pt）

詳しくはこちら》

<https://www.aiful.co.jp/group/ir/data/current/MP2024.pdf>

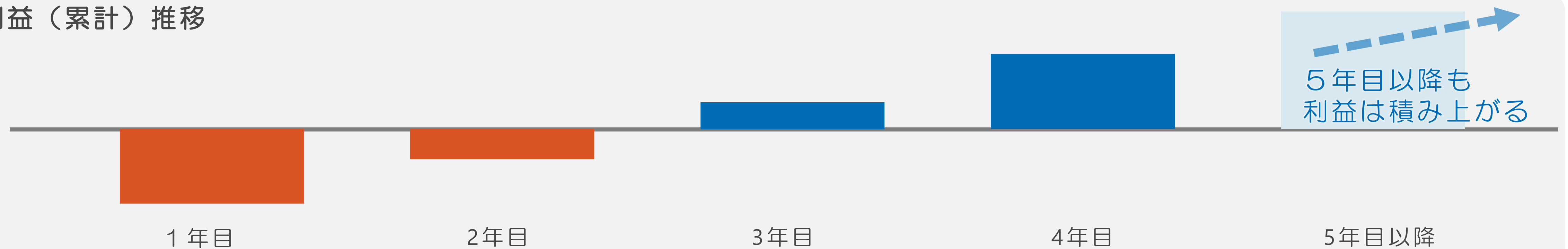
※実効税率を30%とした「親会社株主に帰属する当期純利益」をベースにROEを算出。詳細について中期経営計画をご参照ください。

【アイフル】利益化フェーズ①

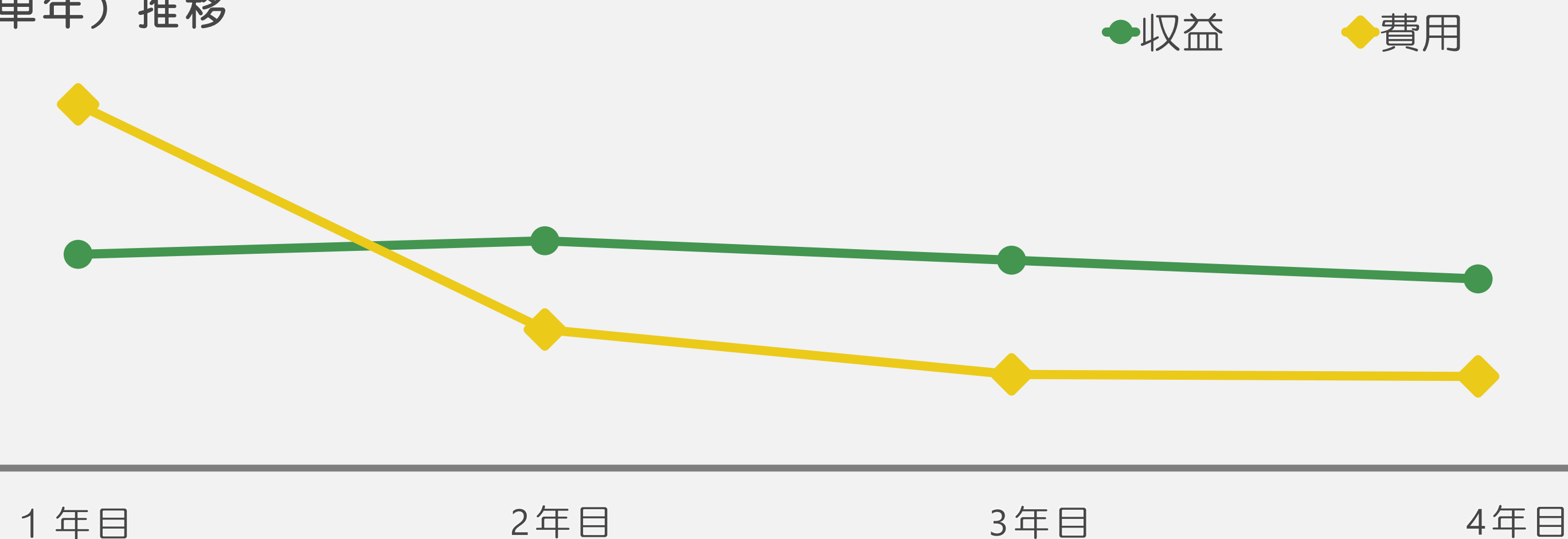
- 新規獲得後、利益となるのは3年目



利益（累計）推移



収益・費用（単年）推移



【収益】

貸付残高の増加（増枠）と共に、2年目がピークとなり、3年目以降はゆるやかに減少

【費用】

1年目をピークに2年目以降は減少（1年目に広告宣伝費発生、貸倒関連費用は1年目をピークに減少）

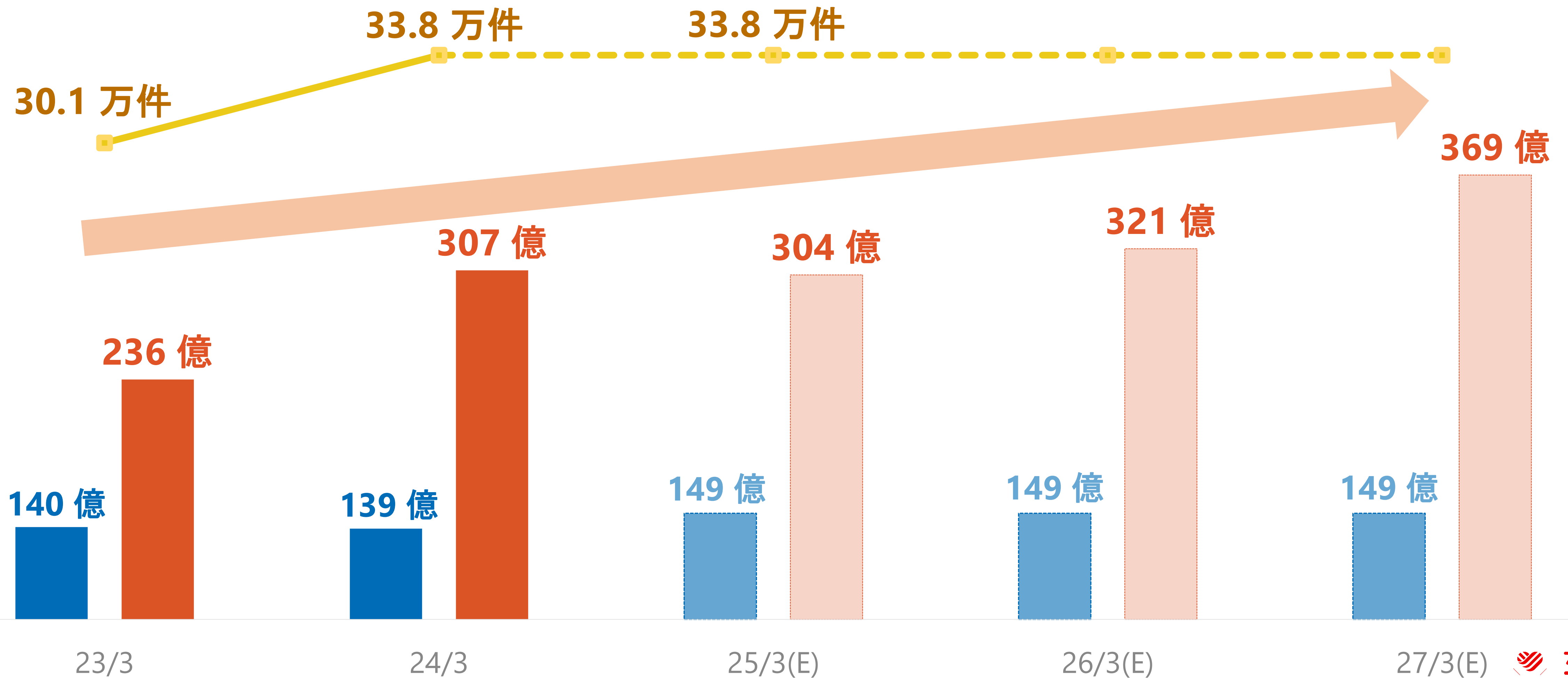
【アイフル】利益化フェーズ②

- 積極的な宣伝投資を中期経営計画期間も継続するが、**利益水準は向上**する見通し
- コア利益：経常利益から引当金（貸倒関連費用、利息返還関連費用）と減価償却費を除外し、貸倒損失額を加算した利益

■ 広告宣伝費

■ コア利益

■ 新規貸付件数



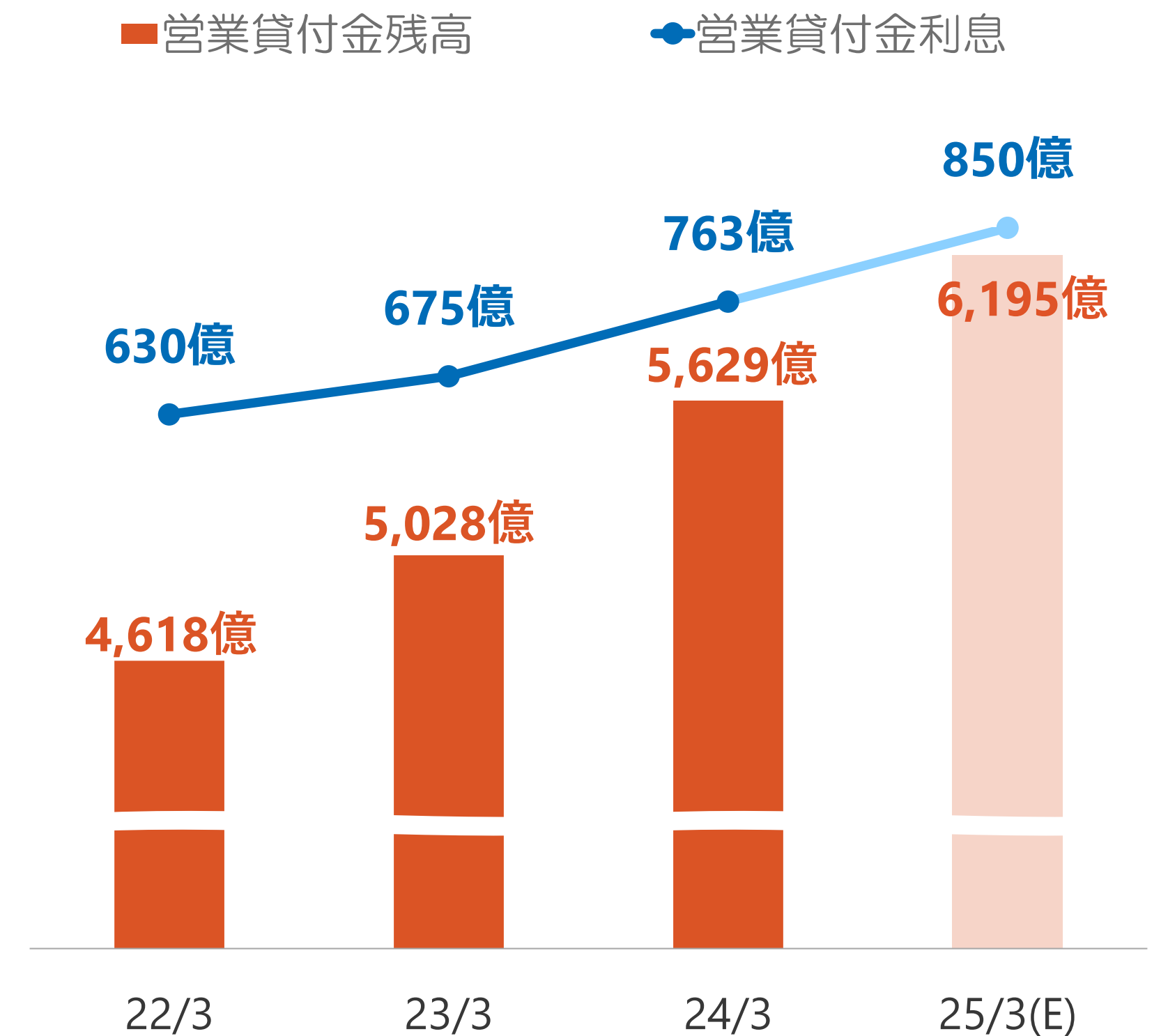
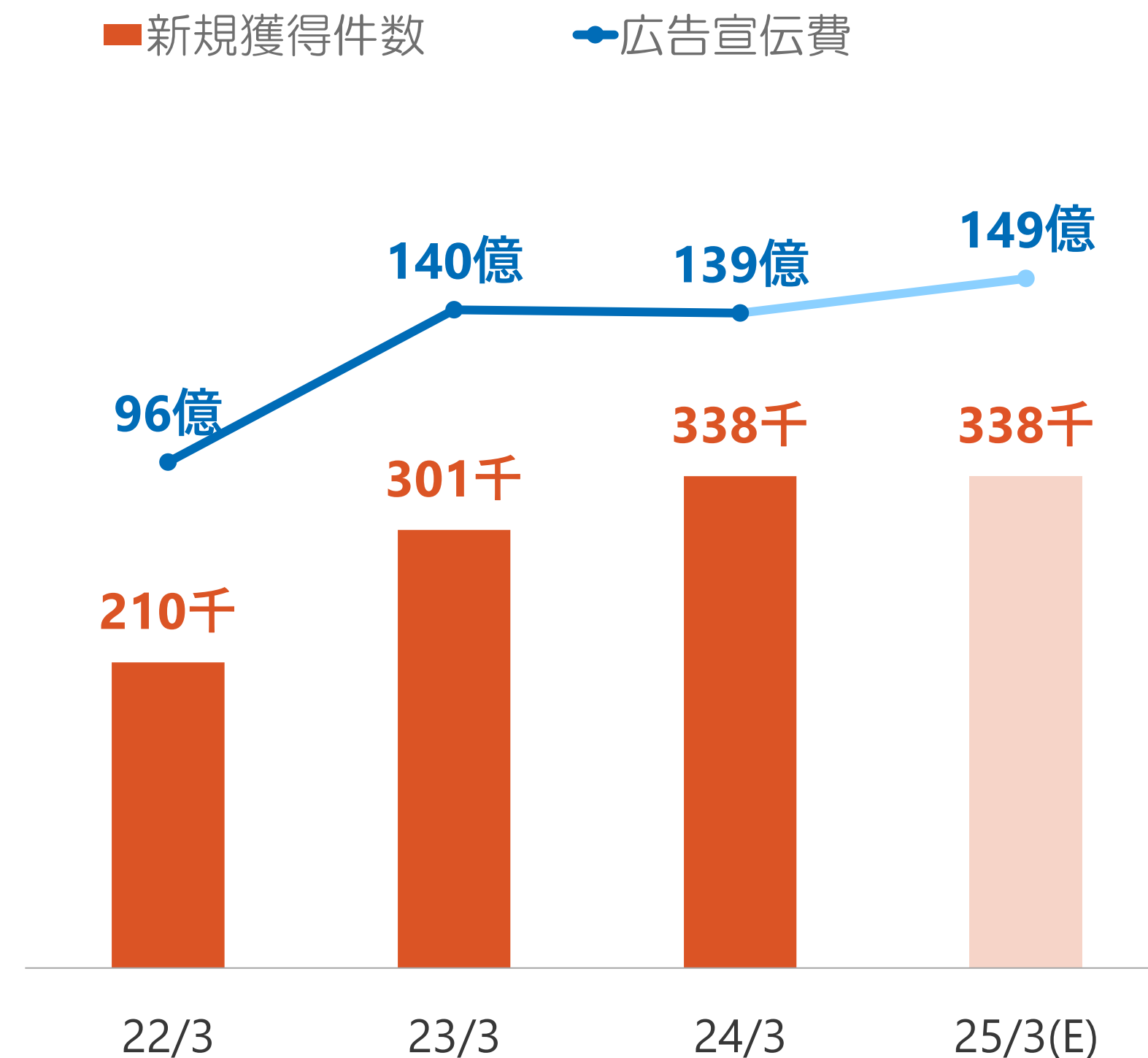
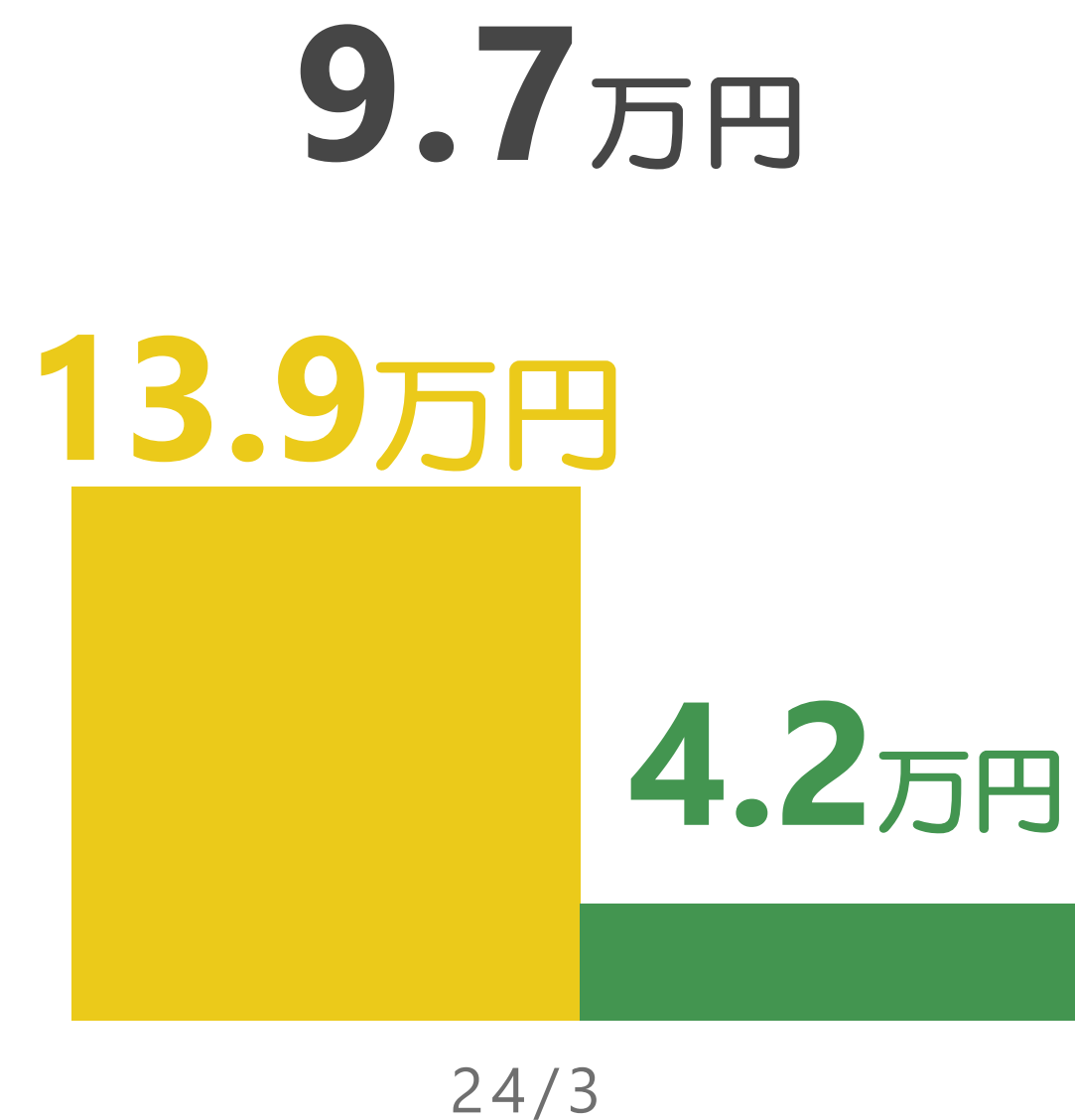
【アイフル】 LTV/CPA

- 獲得効率を維持しながら、広告宣伝費を増加
- 結果、新規獲得は大幅に増加し、営業貸付金残高も順調に拡大。将来利益を確保できている

LTV 顧客生涯利益（広告宣伝費を除いて算出した顧客の生涯利益）

CPA 1顧客当たりの獲得単価（新規顧客1人当たりの広告宣伝費）

CPA控除後のLTV



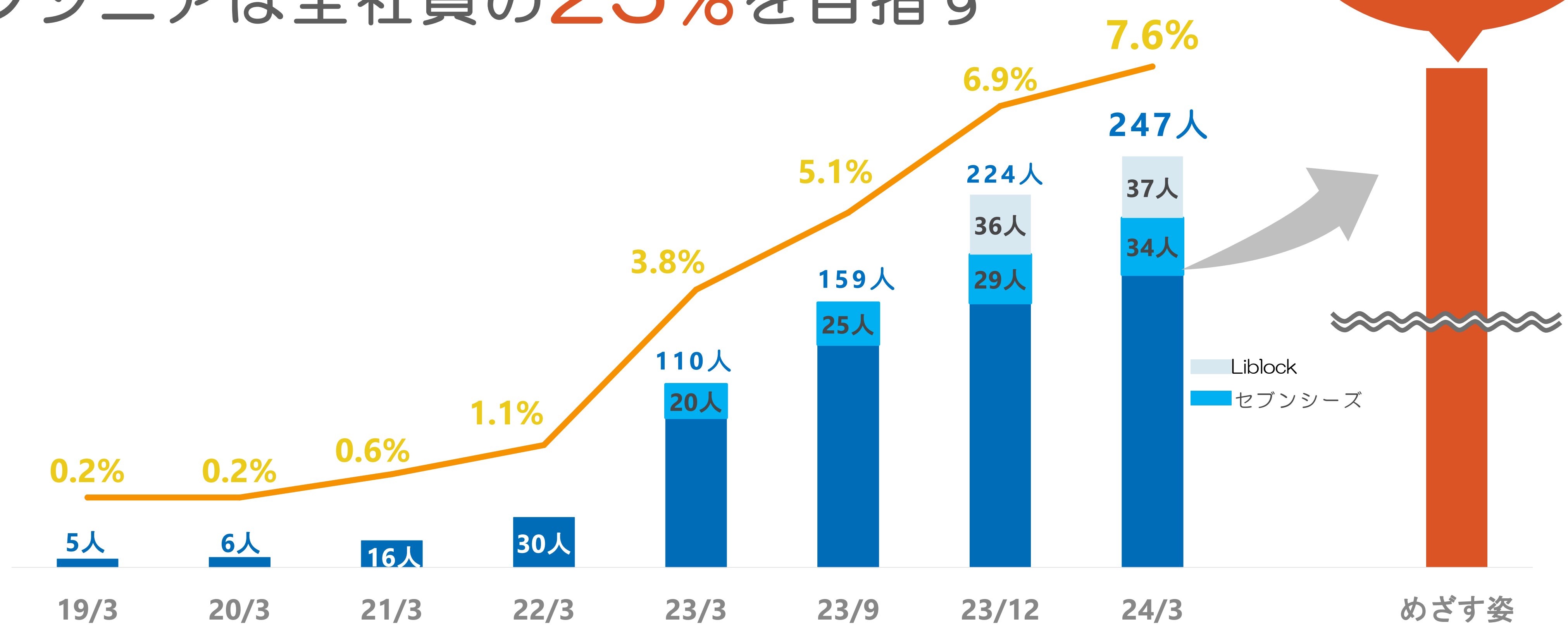


③ アイフルグループの『変化』

変化：IT人材戦略

- M&A（SES事業） 23/3 セブンシーズ株式会社、23/11 株式会社Liblock
- ハッカソン 国内・海外の大学・大学院生を対象に複数回開催
⇒海外のIT人材獲得に繋がる
（チュラロンコン大学（タイ王国）インド工科大学（インド共和国）等）

IT企業への変革に向けて
エンジニアは全社員の**25%**を目指す



変化：デジタル化・内製化の取り組み

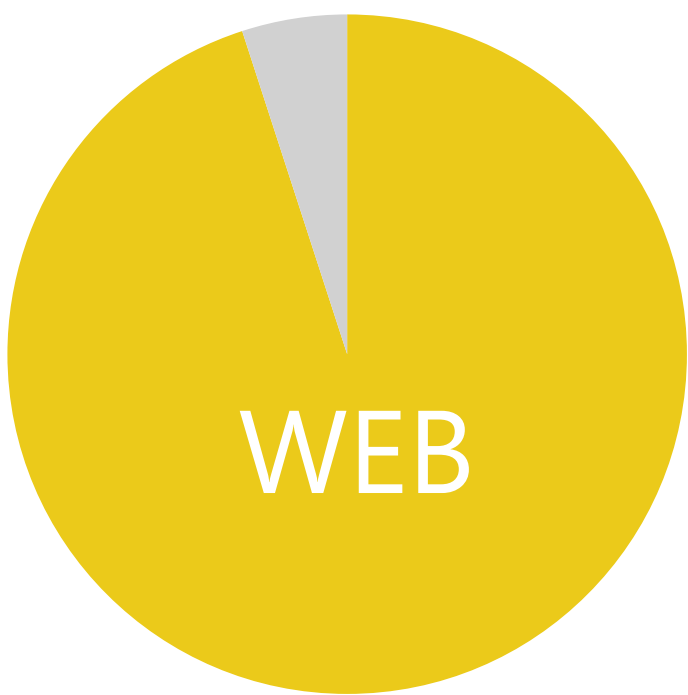
■ 申込フォームの改善

ストレスの感じないフォームを目指し、UI/UXを改善



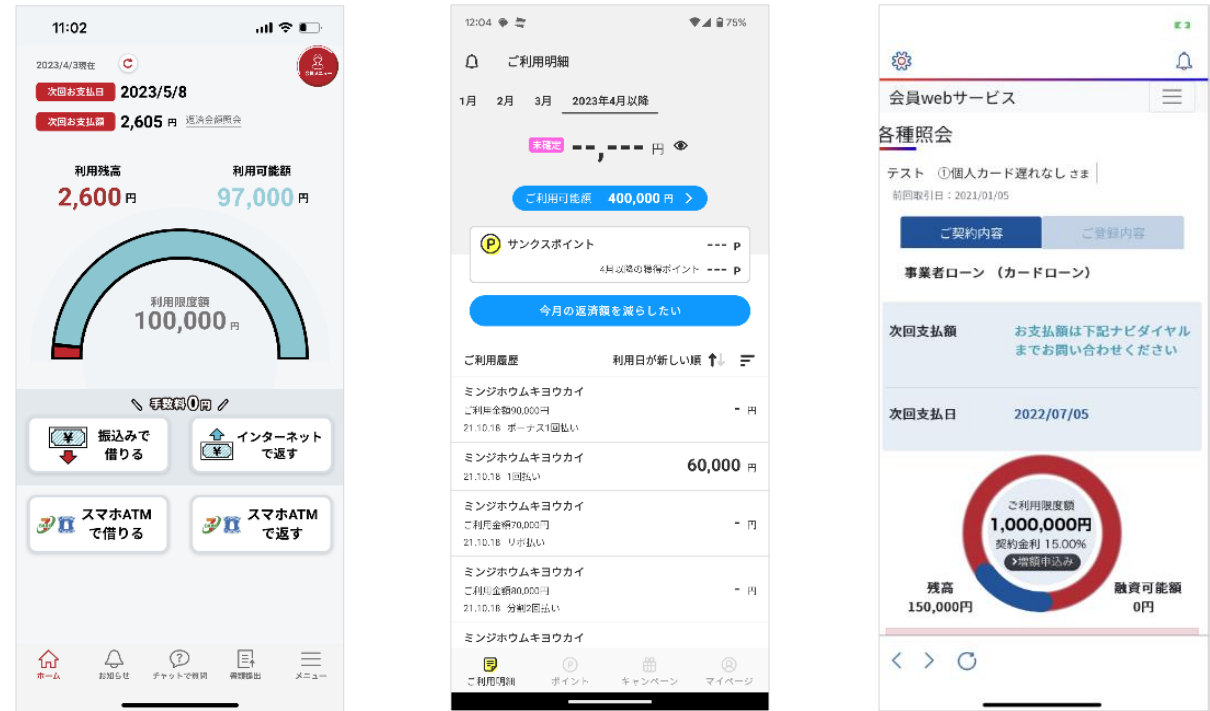
■ WEB申込率

WEBを通じた申込率は9割超に



■ アプリの改修

アイフル・ライフカード・AGビジネスサポートのアプリ改修を内製化し、評価も向上



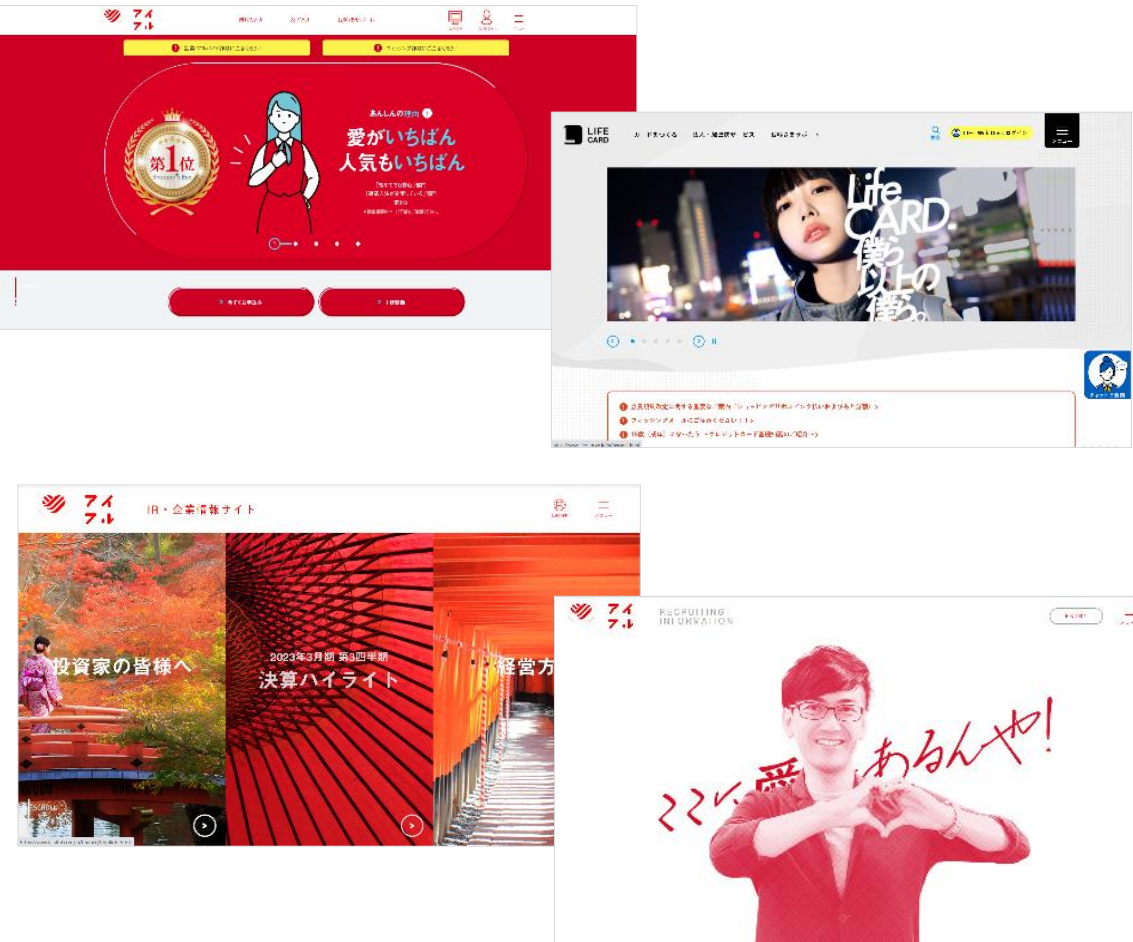
■ 社内オペレーションの改善

融資申込ステータス管理システム
スマホ申込WEBフォームの受付情報をもとに、申込から審査までに生じるお客様とのやり取りの一元管理が可能に

通話履歴全文検索システム
Amazon Connectと統合することで音声通話の文字起こしや感情分析の結果の閲覧が可能に



■ HPの改修



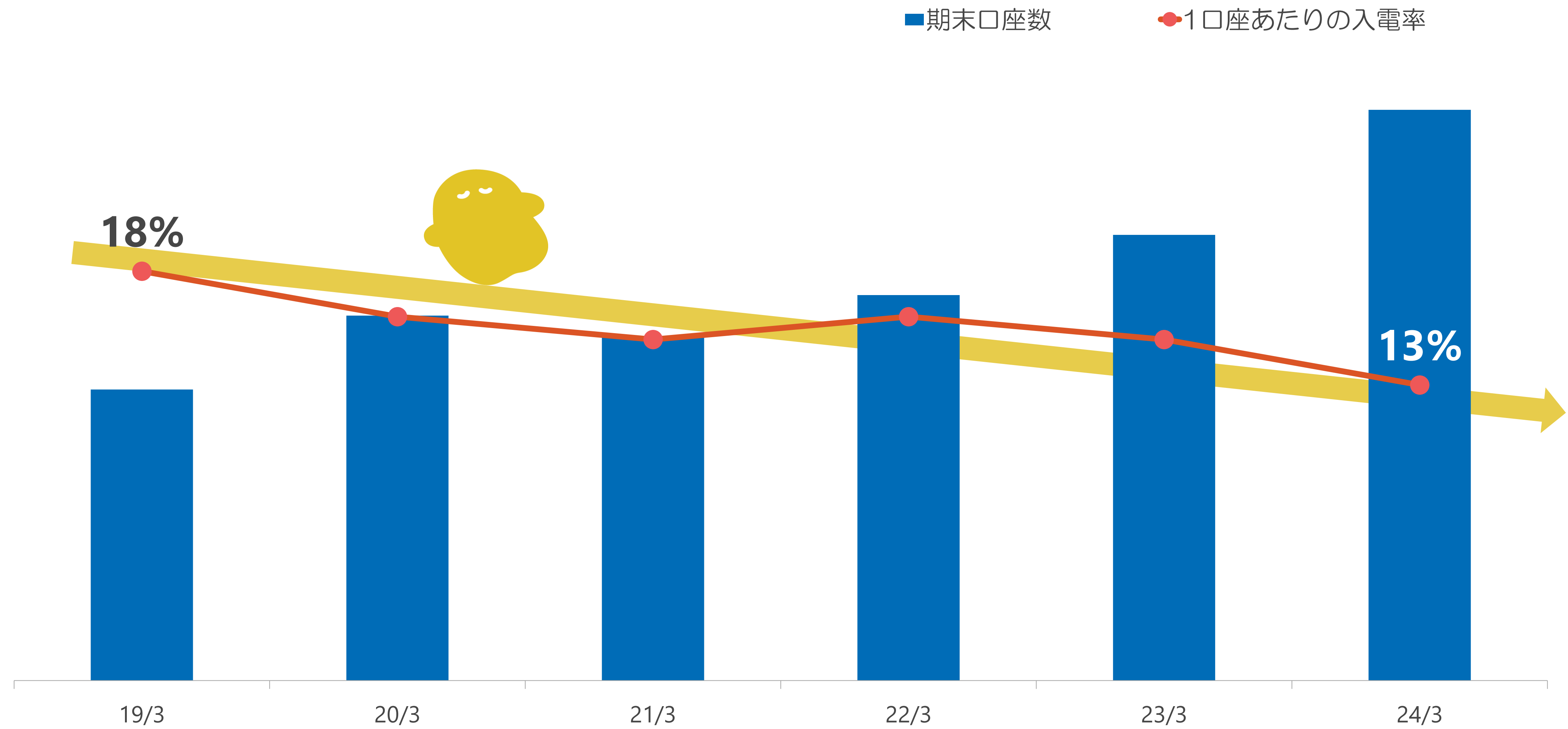
■ FAQの充実

アイフルHP内のFAQを拡充し、顧客利便を高める

現在
200件以上

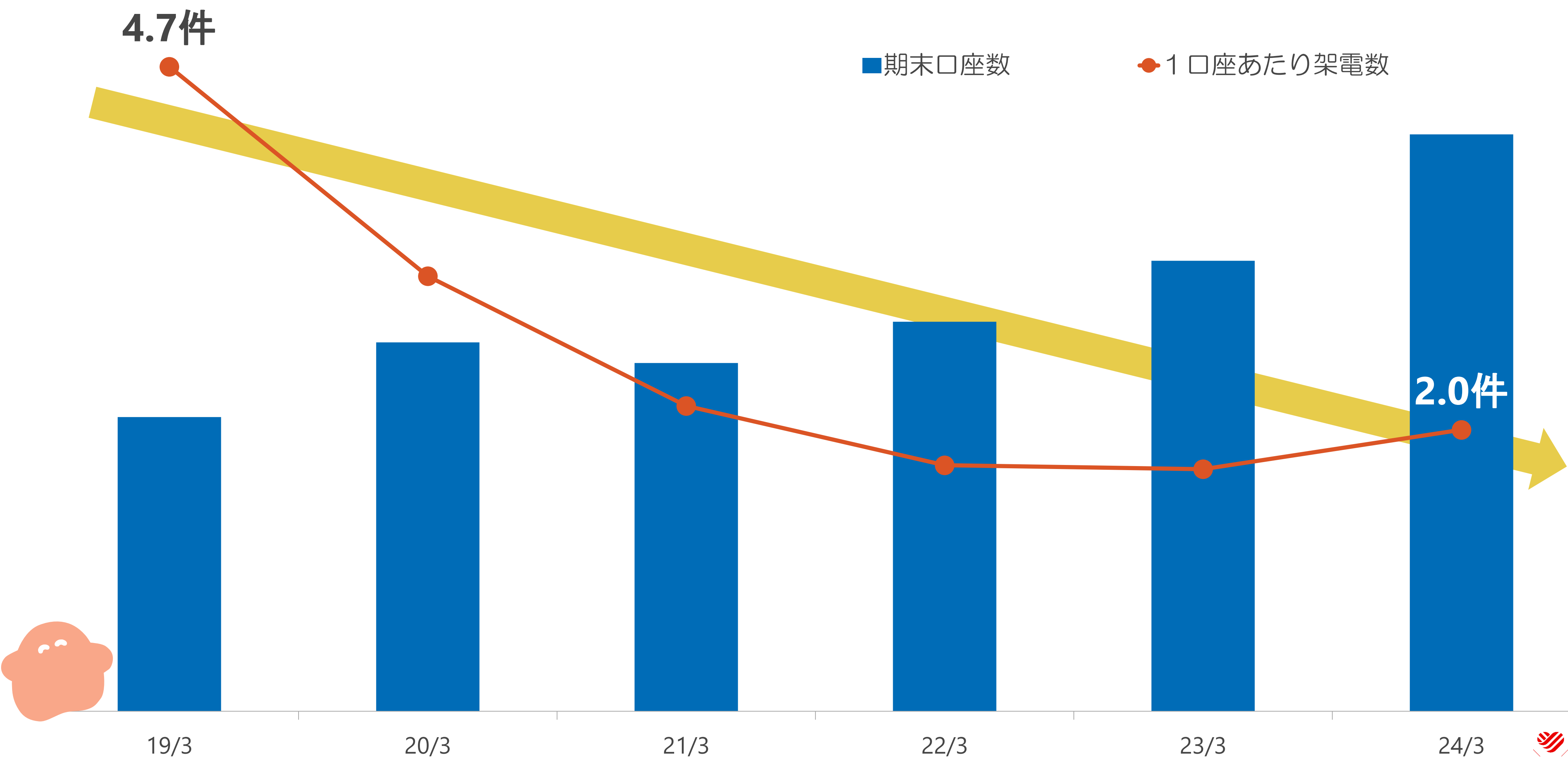
IT化推進による効果（アイフル営業部門）

- IT化施策により、口座数の増加に対し入電率は低下



IT化推進による効果（アイフル回収部門）

● IT化施策により、口座数増加に対する架電数増加を抑制





② 連結決算概要

【連結】主要数値・通期計画

- 市場回復に伴い好調に推移する新規貸付を背景に営業債権残高・営業収益は2桁成長

単位：百万円	23/3	24/3	前期比 増減額	前期比 増減率	25/3(E)	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高	1,015,910	1,178,983	163,073	16.1%	1,322,400	143,416	12.2%
ローン事業	648,760	738,676	89,916	13.9%	816,000	77,323	10.5%
無担保ローン	550,647	614,131	63,483	11.5%	670,400	56,268	9.2%
有担保ローン	25,979	35,399	9,420	36.3%	43,900	8,500	24.0%
事業者ローン	72,133	89,145	17,012	23.6%	101,500	12,354	13.9%
クレジット事業	142,899	173,790	30,890	21.6%	202,800	29,009	16.7%
支払承諾見返	204,078	241,562	37,484	18.4%	272,200	30,637	12.7%
信用保証事業	203,492	241,172	37,679	18.5%	271,900	30,727	12.7%
その他	585	389	-195	-33.4%	200	-189	-48.7%
営業収益	144,152	163,109	18,957	13.2%	180,200	17,090	10.5%
営業費用	120,427	142,045	21,618	18.0%	156,300	14,254	10.0%
営業利益	23,724	21,064	-2,660	-11.2%	23,800	2,735	13.0%
経常利益	24,428	22,067	-2,360	-9.7%	24,000	1,932	8.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	22,343	21,818	-524	-2.3%	21,600	-218	-1.0%

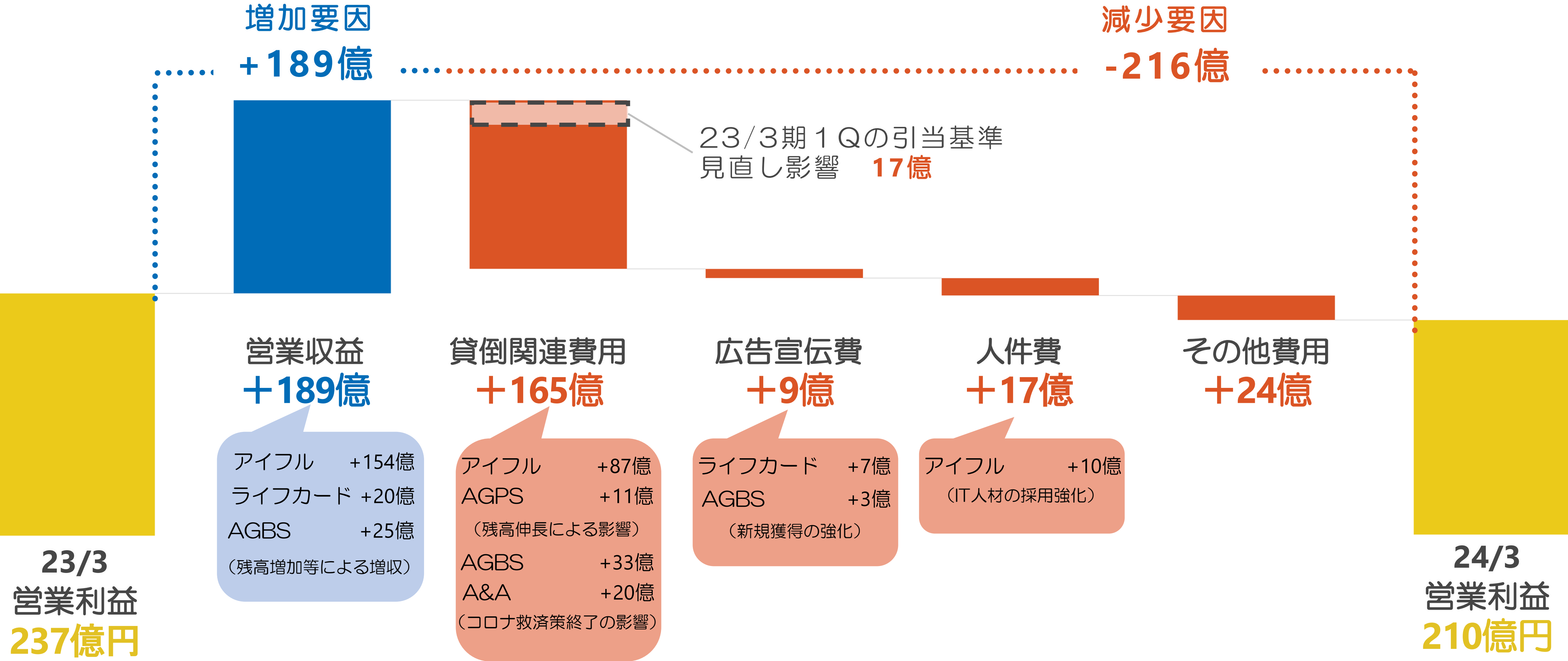
【連結】 決算概要

● 広告宣伝費・貸倒関連費用の計上により、前期比で減益となった

単位：百万円	23/3	24/3	前期比 増減額	前期比 増減率	25/3 (E)	単位：百万円	23/3	24/3	前期比 増減額	前期比 増減率	25/3 (E)
営業収益	144,152	163,109	18,957	13.2%	180,200	営業利益	23,724	21,064	-2,660	-11.2%	23,800
営業貸付金利息	83,230	95,400	12,169	14.6%	106,700	営業外収益	747	1,041	293	39.3%	300
信用購入あっせん 収益	23,158	26,290	3,132	13.5%	30,500	営業外費用	44	37	-6	-14.2%	200
信用保証収益	17,030	19,408	2,378	14.0%	21,000	経常利益	24,428	22,067	-2,360	-9.7%	24,000
その他の営業収益	20,732	22,010	1,277	6.2%	21,700	特別利益	-	79	79	-	—
営業費用	120,427	142,045	21,618	18.0%	156,300	特別損失	468	653	184	39.4%	—
金融費用	7,068	7,246	177	2.5%	9,000	税引前利益	23,959	21,493	-2,466	-10.3%	24,000
貸倒関連費用	36,004	52,546	16,542	45.9%	56,000	法人税・住民税お よび事業税	3,349	5,007	1,657	49.5%	5,700
利息返還関連費用	-	-	-	-	-	法人税等調整	-2,336	-5,016	-2,680	-	-3,100
広告宣伝費	16,876	17,788	912	5.4%	18,900	非支配株主に帰属 する当期純利益	603	-316	-919	-	-200
人件費	17,386	19,095	1,708	9.8%	20,900	親会社株主に帰属す る当期純利益	22,343	21,818	-524	-2.3%	21,600
その他の費用	43,091	45,368	2,276	5.3%	51,300						

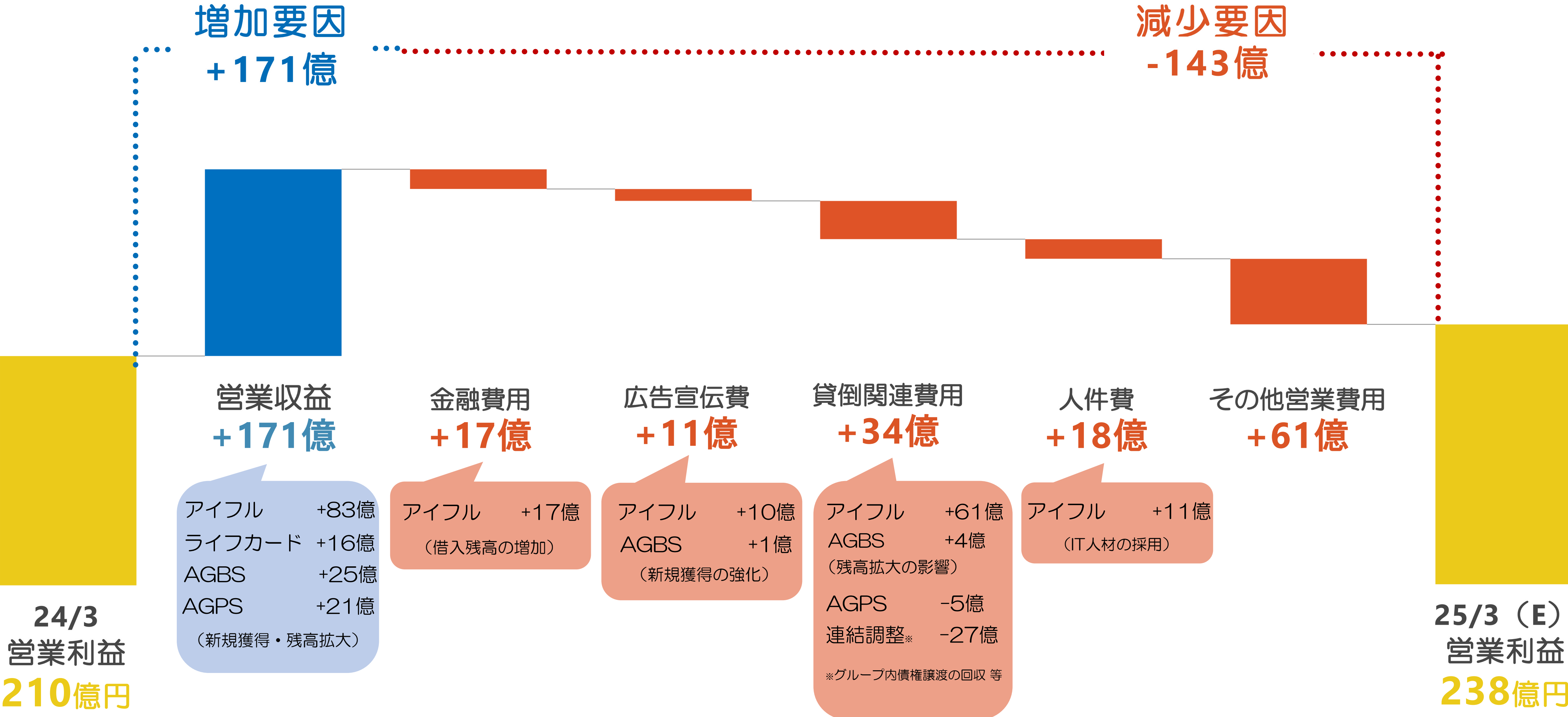
【連結】 営業利益 差異要因（前期比）

営業利益の差異要因（26億円減益）



【連結】 営業利益 差異要因 (計画比)

営業利益の差異要因 (27億円増益)



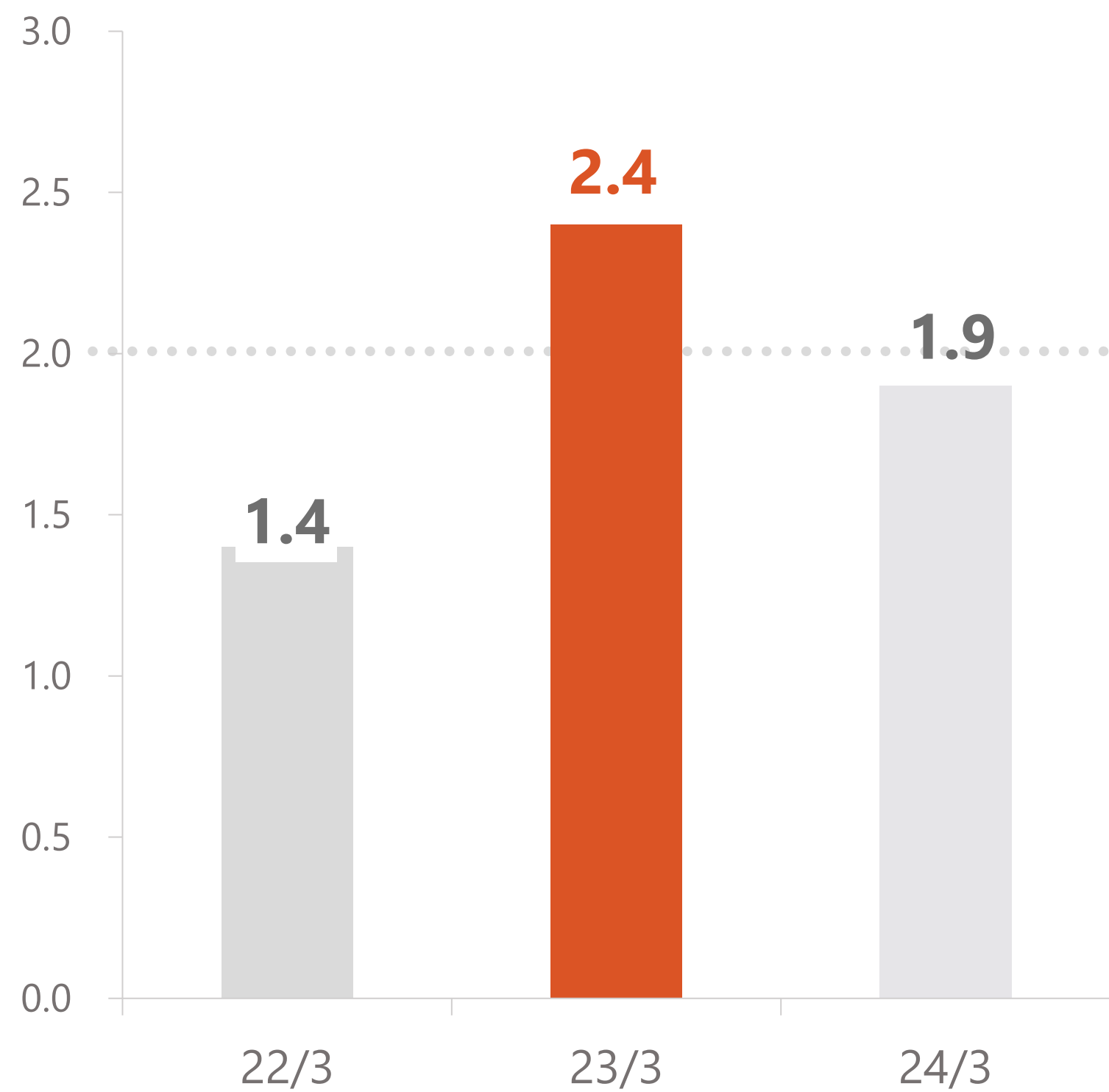
*AGBS:AGビジネスサポート、AGPS:AGペイメントサービス

【連結】KPI

ROA・ROE・自己資本比率推移

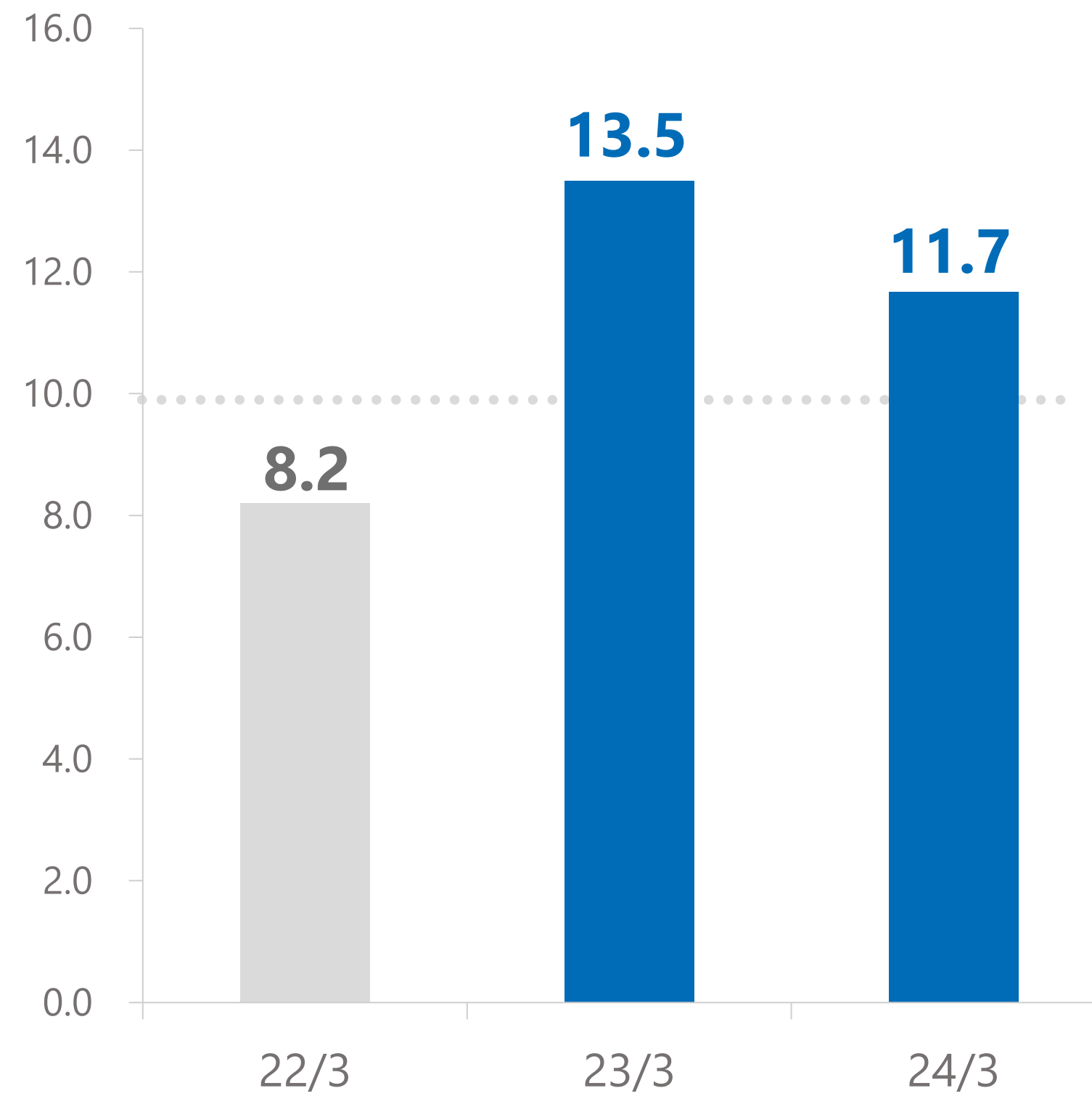
2%超

ROA



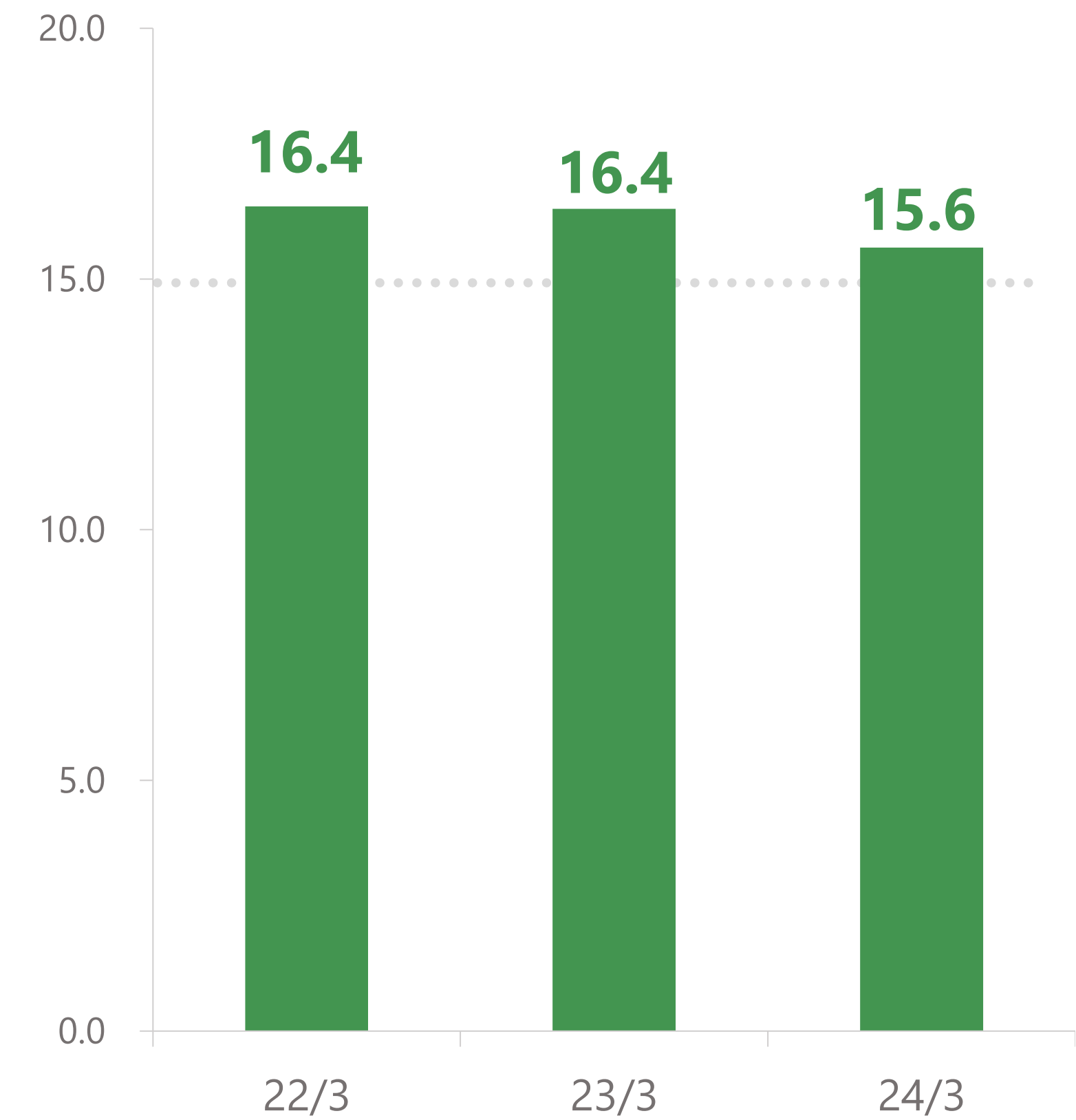
10%超

ROE



15%以上

自己資本比率



【アイフル】貸倒関連費用の増加要因①

- 新規貸付が好調であり取引の長い債権と比較し、リスクの高い貸付期間が浅い債権の占有が増加

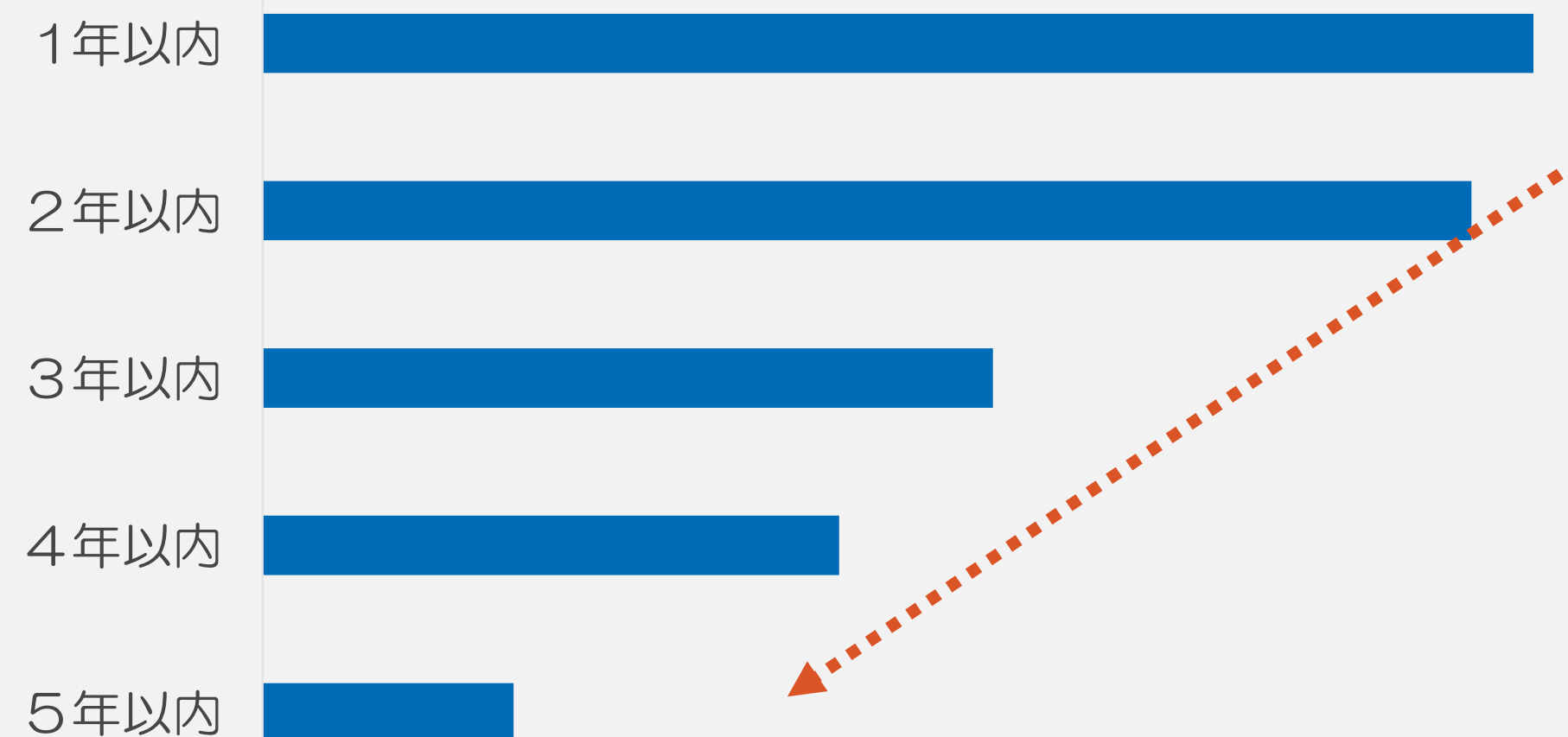
増加の主要因：取引の浅い債権の占有の増加

取引期間

延滞事故率

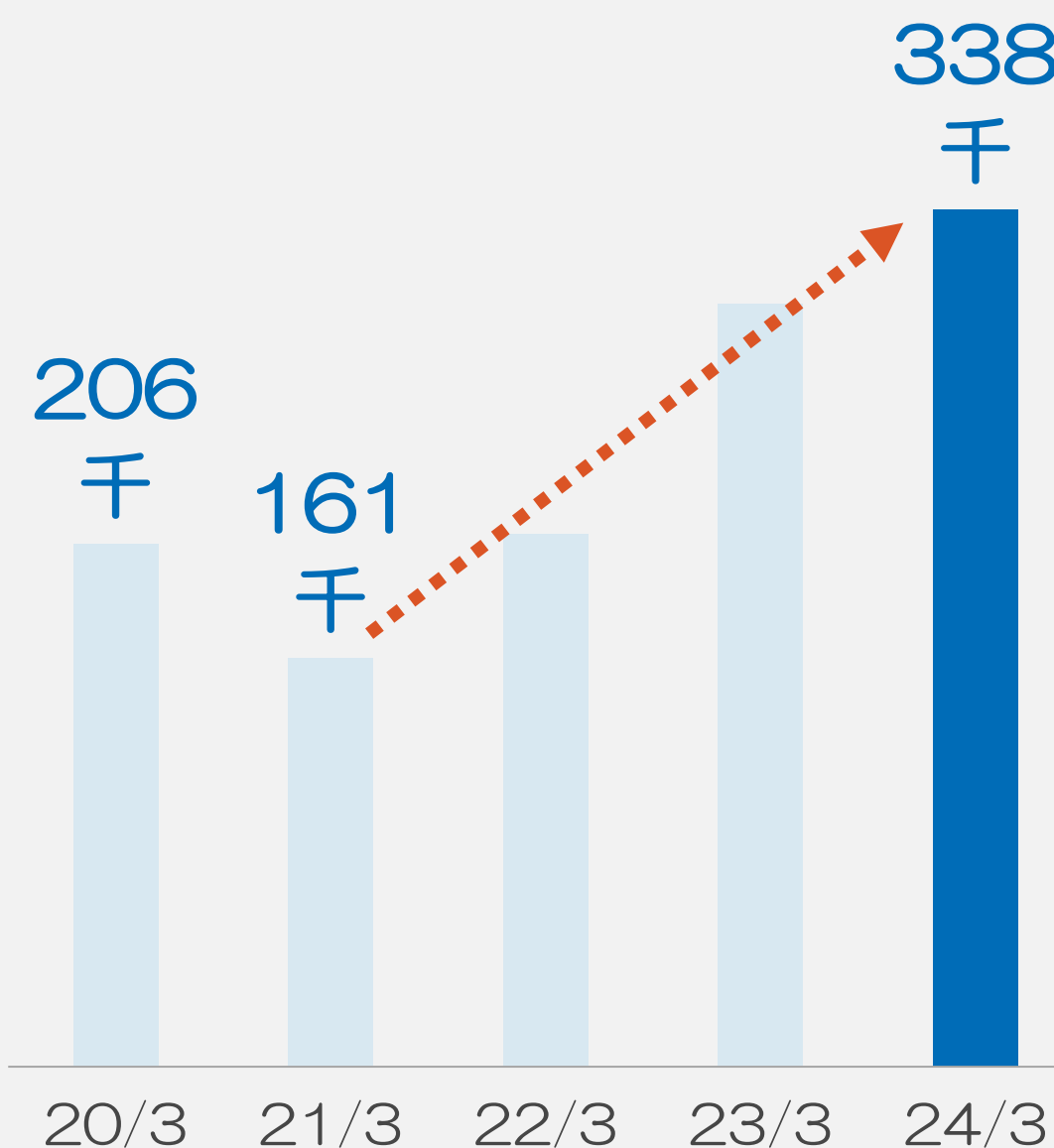
短い > 長い

貸付期間別 延滞事故率（件数）

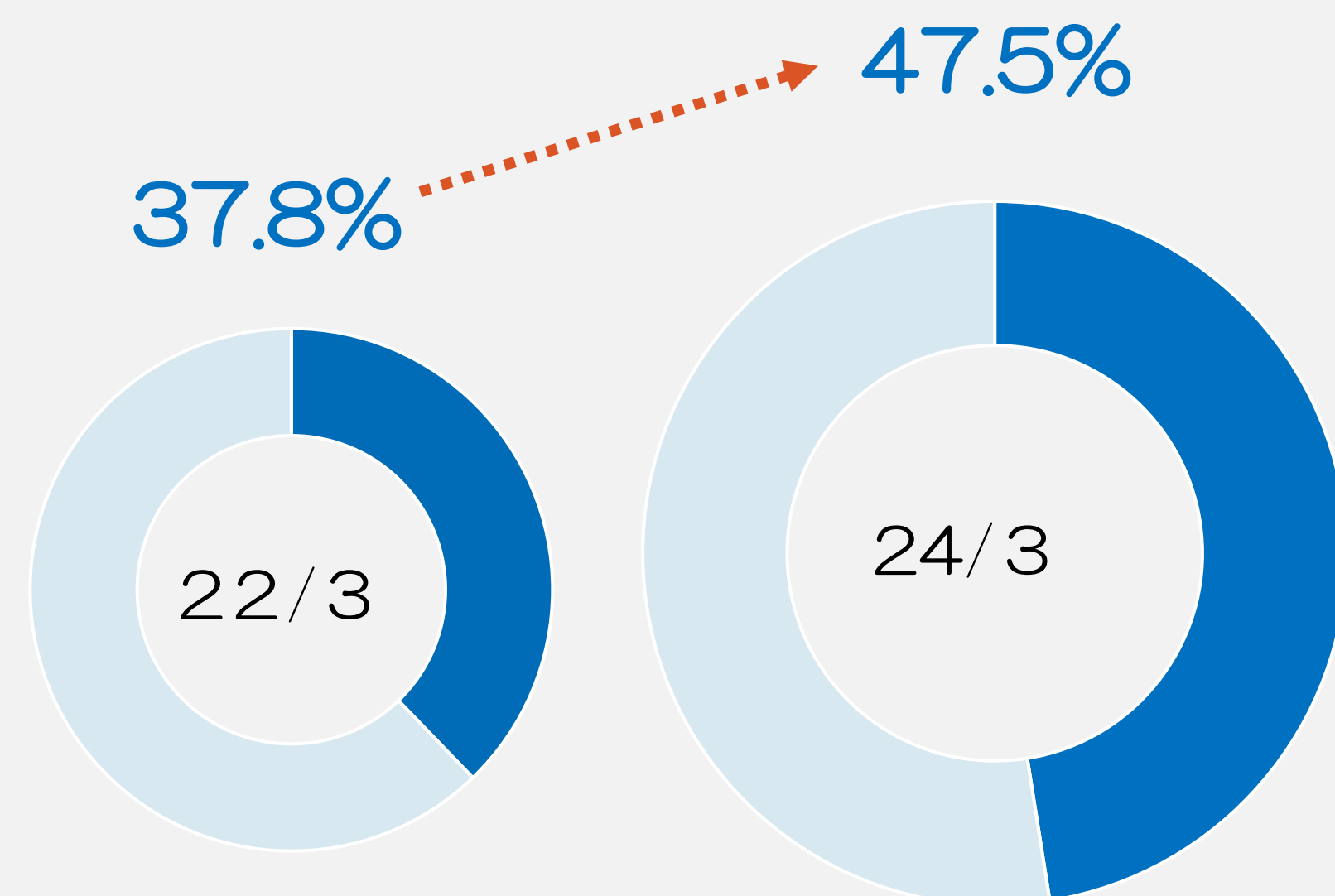


貸付2年以内の占有が 47%まで増加

新規獲得件数の推移



貸付2年以内の占有率（件数）

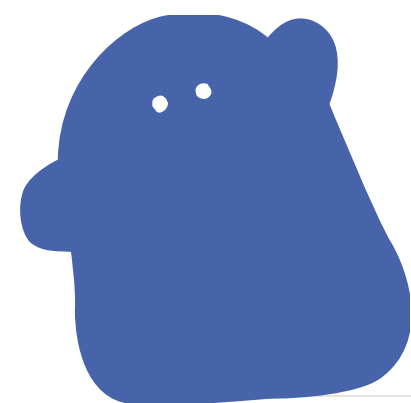
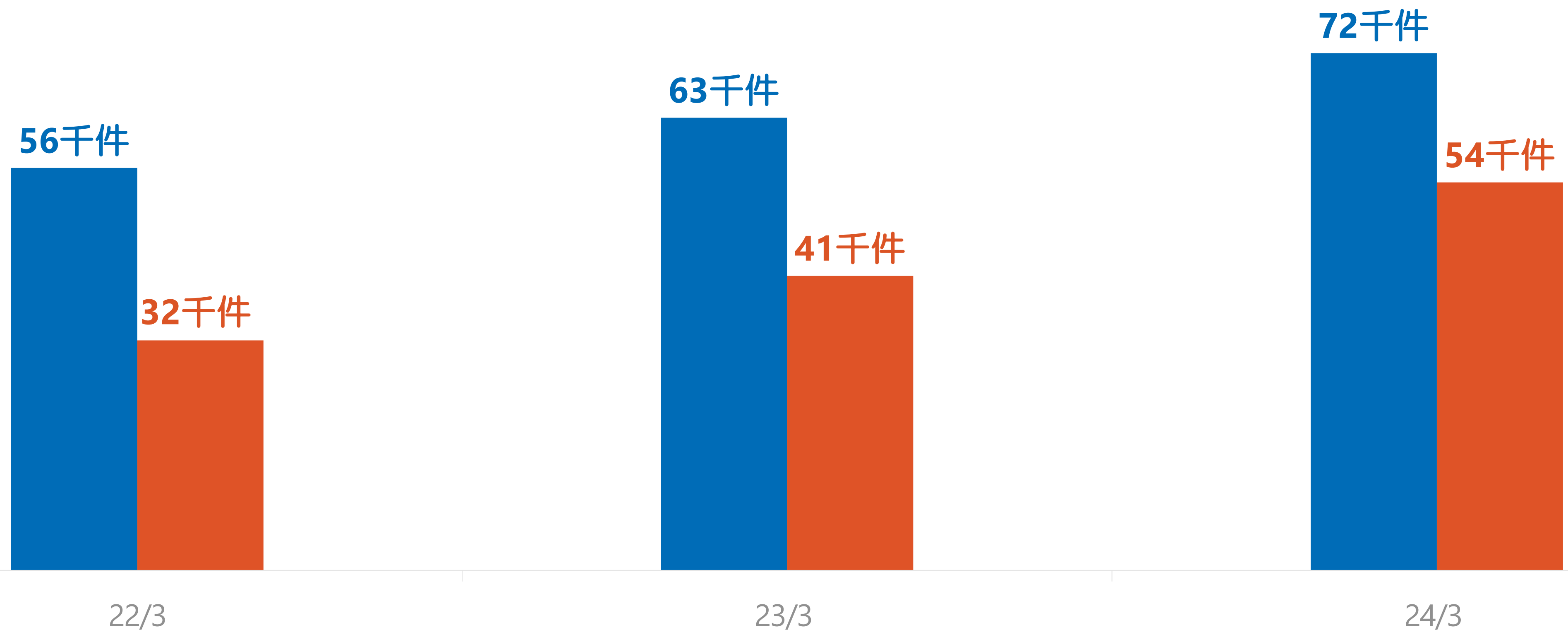


【アイフル】 貸倒関連費用の増加要因②

- 24/3期の利息返還を除く介入入庫件数は、前期比13%増加（それに伴い、和解件数が同31%増加）

利息返還を除く介入入庫・和解件数の推移

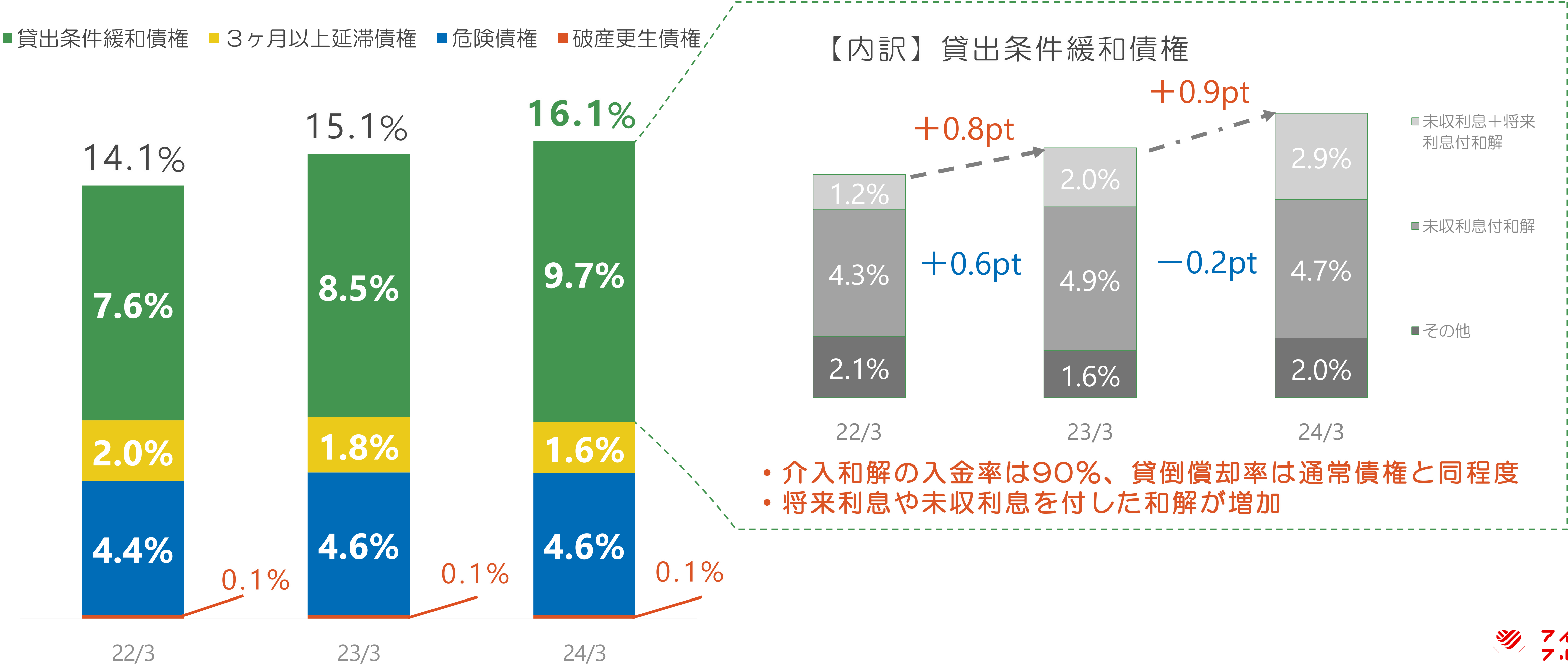
■ 介入入庫件数 ■ 和解件数



【アイフル】 貸倒関連費用の増加要因③

- 取引の浅い債権の占有や足元の介入増、和解債権（貸出条件緩和債権）の完済までの滞留を主要因として、不良債権比率は増加
- 和解債権（貸出条件緩和債権）は不良債権ではあるものの、貸倒償却率は通常債権と同程度
- 前期と比較し、将来利息や未収利息を付した和解も増加

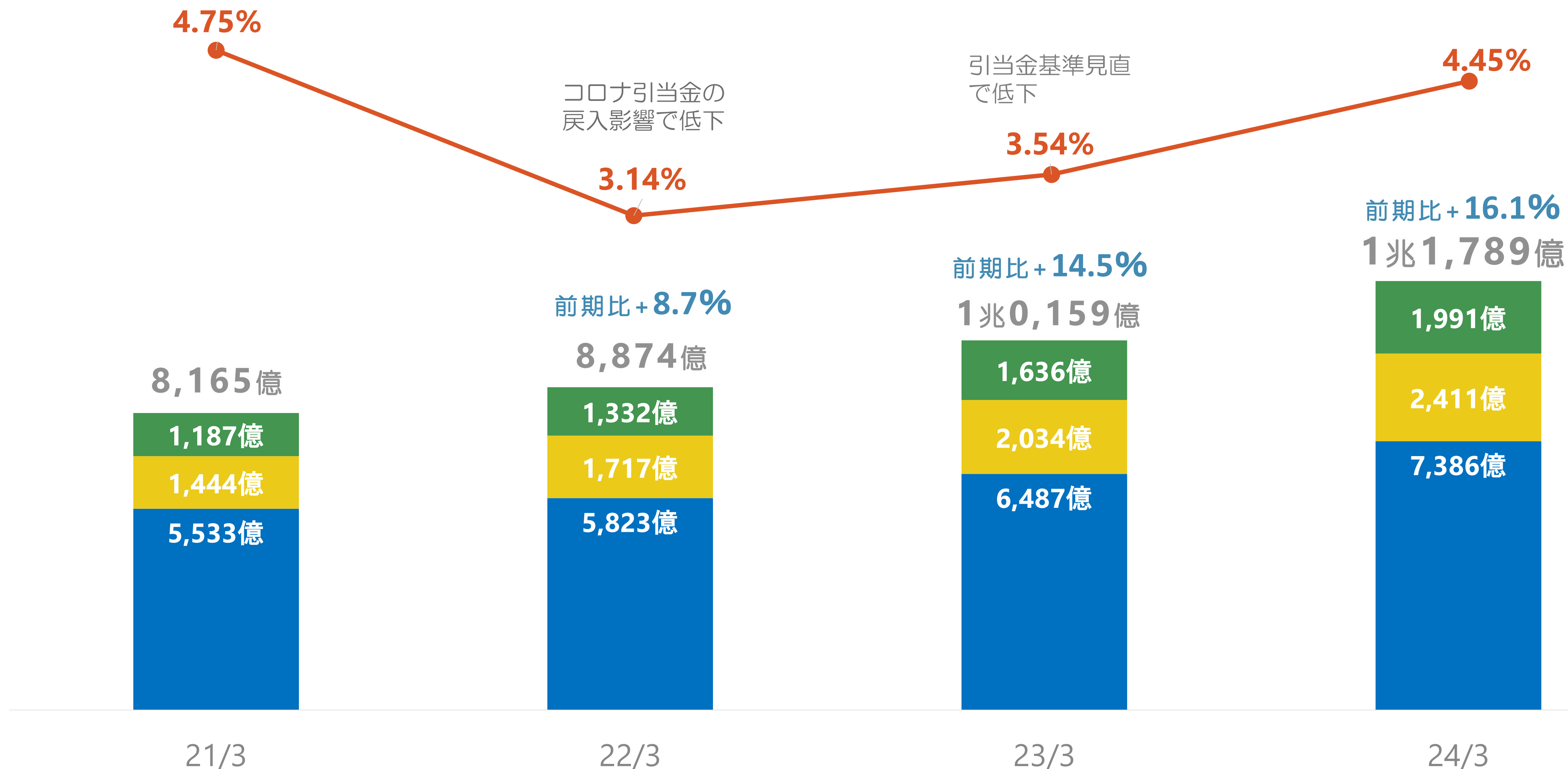
不良債権比率（無担保）



【連結】 営業債権残高/貸倒関連費用

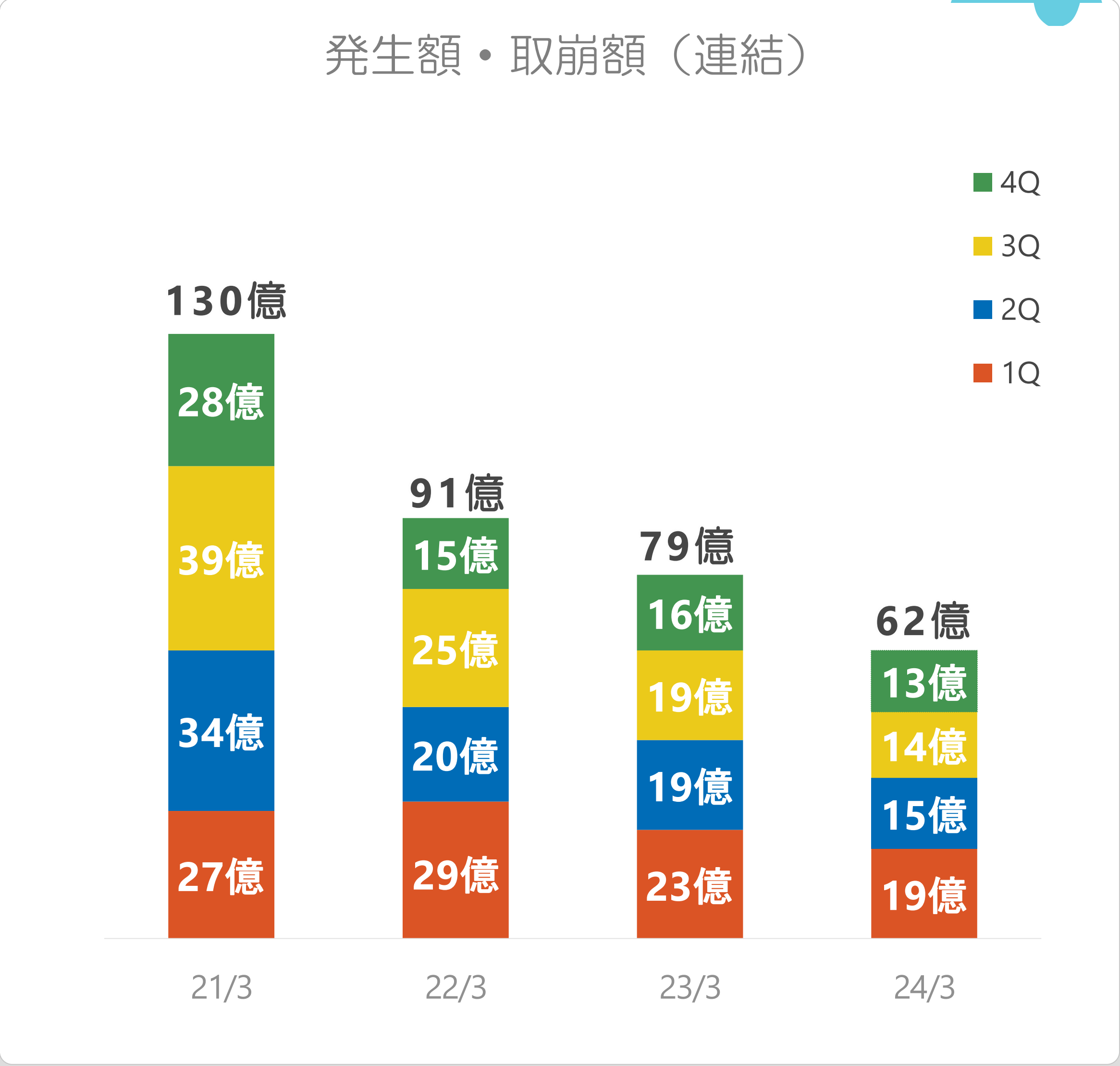
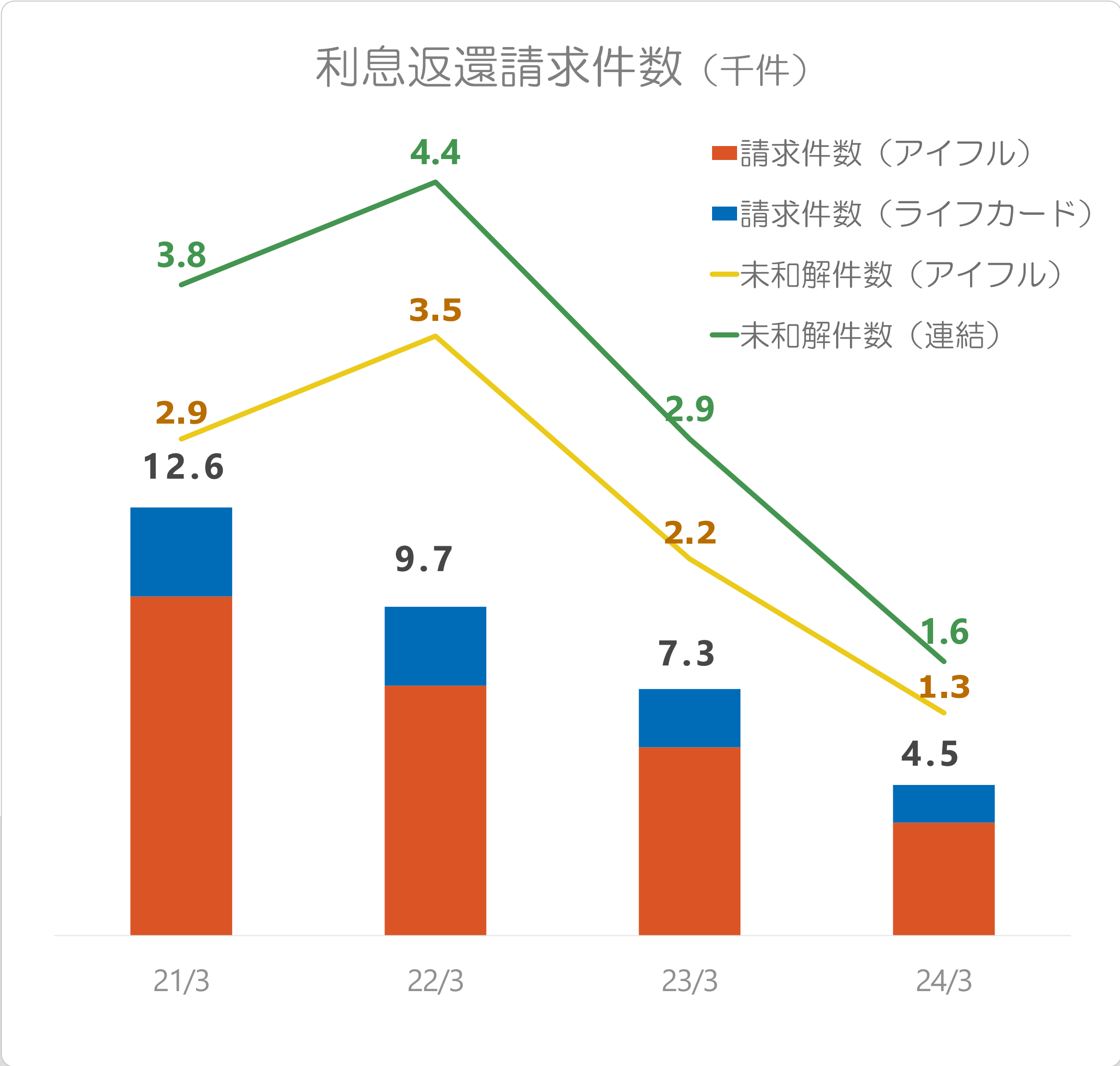
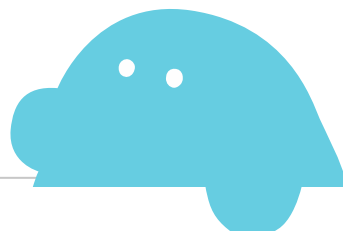
- 貸倒関連費用は発生した損失分の補填、営業債権の残高伸長に応じた引当金の繰入額で構成
- コロナ引当の戻入・引当金基準の見直しによって、一時的に残高比の貸倒関連費用率は低下

■ 営業貸付金残高 ■ 保証残高 ■ その他残高 ● 残高貸倒関連費用率



利息返還の推移

- 利息返還請求の減少とともに、発生額・取崩額も減少





④ アイフル決算概況

営業実績



単位：百万円		23/3	24/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高		691,689	790,608	98,918	14.3%
営業貸付金残高		502,874	562,913	60,038	11.9%
無担保ローン		490,096	548,554	58,458	11.9%
有担保ローン		2,502	1,836	-666	-26.6%
事業者ローン		10,275	12,522	2,242	21.9%
信用保証残高		176,821	213,020	36,198	20.5%
新規獲得件数（件）		301,262	338,783	37,521	12.5%
無担保ローン		301,183	338,657	37,474	12.4%
口座数（千件）		1,115	1,256	140	12.6%
無担保ローン		1,103	1,243	140	12.7%
貸付量		235,057	275,780	40,723	17.3%
新規顧客		44,394	50,315	5,921	13.3%
既存顧客		190,661	225,465	34,802	18.3%
営業貸付金利回り		14.3%	14.5%	0.2pt	-
無担保ローン18%以下残高占有率		99.5%	99.6%	0.1pt	-
貸倒発生額		21,795	24,696	2,900	13.3%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額		21,200	24,205	3,004	14.2%
貸倒償却率		3.2%	3.1%	-0.1pt	-
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率		3.1%	3.1%	0.0pt	-

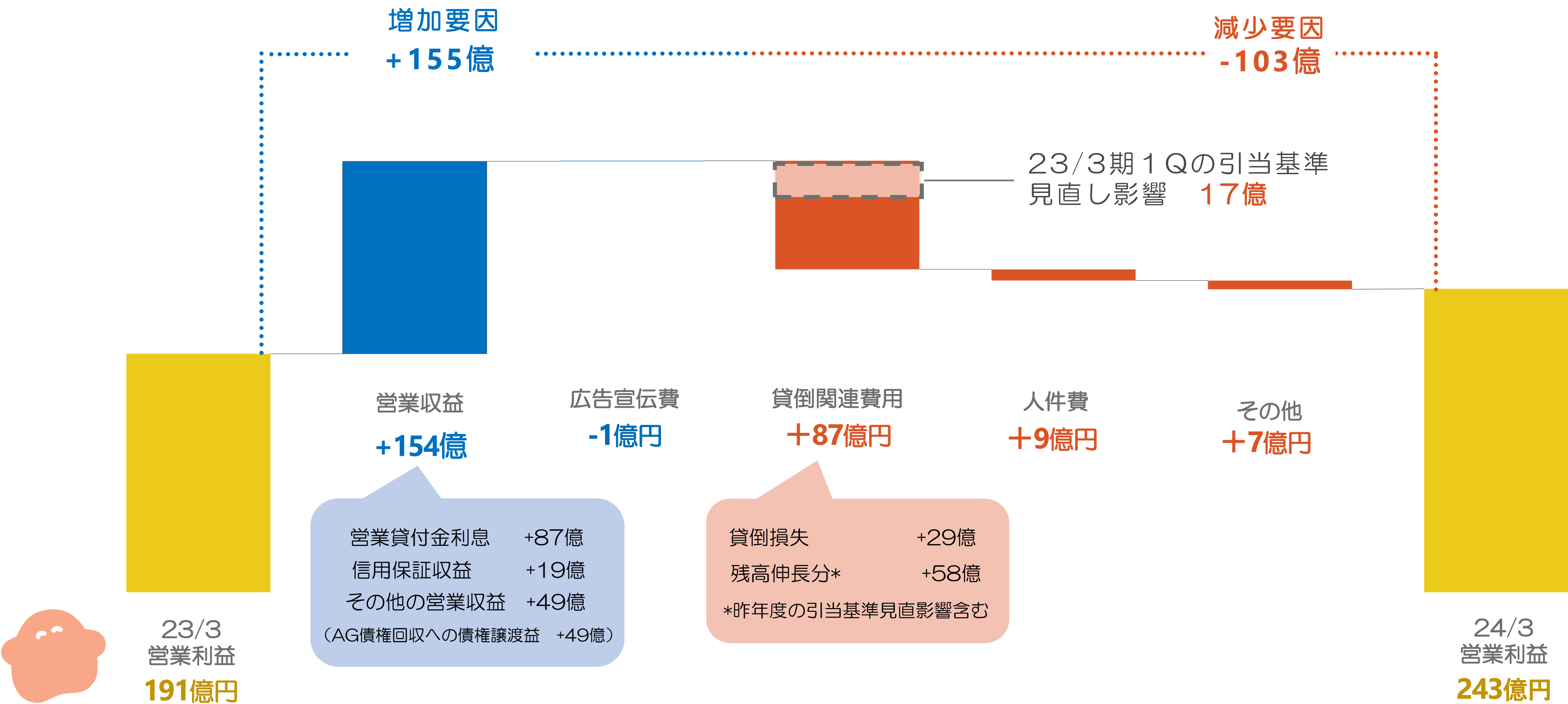
決算概要



単位：百万円		23/3	24/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益		88,449	103,867	15,417	17.4%
営業貸付金利息		67,596	76,323	8,727	12.9%
信用保証収益		12,447	14,397	1,950	15.7%
営業費用		69,322	79,527	10,205	14.7%
金融費用		5,245	5,306	61	1.2%
貸倒関連費用		22,406	31,172	8,766	39.1%
利息返還関連費用		-	-	-	-
広告宣伝費		14,097	13,937	-160	-1.1%
人件費		9,723	10,690	967	9.9%
その他費用		17,849	18,421	571	3.2%
営業利益		19,127	24,339	5,211	27.2%
営業外収益		13,100	2,814	-10,286	-78.5%
営業外費用		15	6	-8	-57.5%
経常利益		32,213	27,147	-5,066	-15.7%
特別利益		-	79	79	-
特別損失		468	606	137	29.3%
当期純利益		31,028	24,998	-6,029	-19.4%

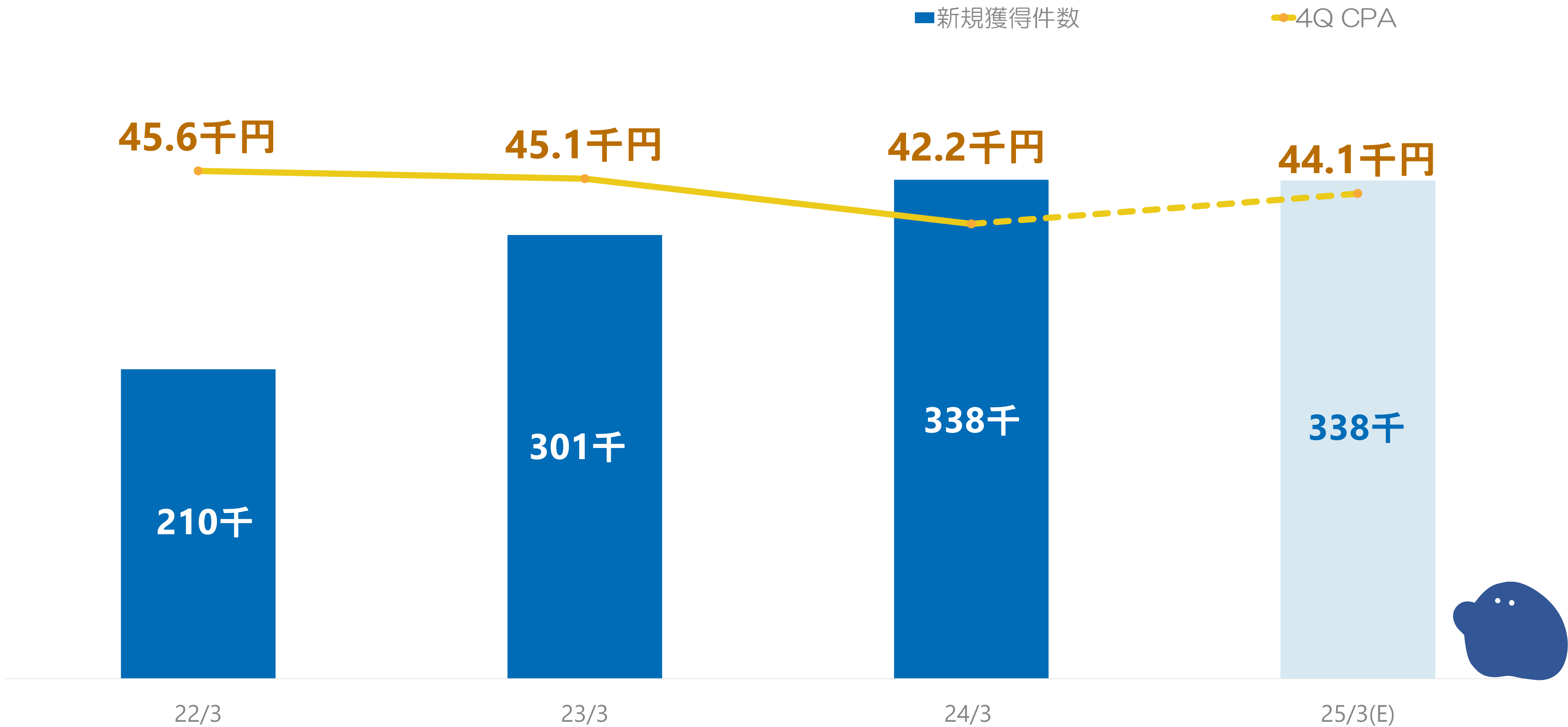
決算概要/営業利益 差異要因 (前期比)

営業利益の増減要因 (52億円増益)



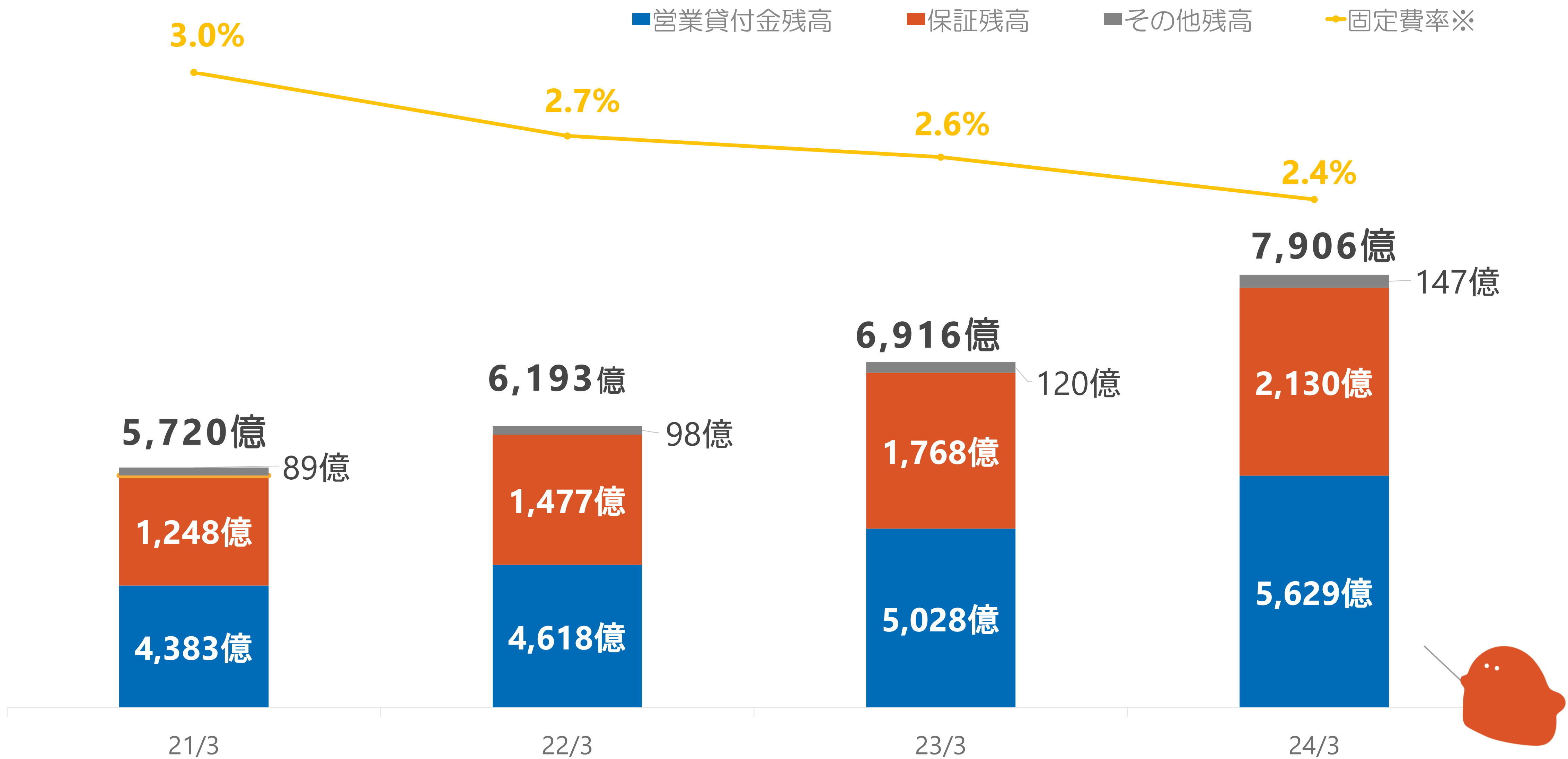
ローン事業/新規獲得とCPAの相関

- 好調なマーケットを背景とした宣伝投資により、新規獲得件数は前期比12.5%増の33.8万件
- 25/3は、前期同程度の新規獲得件数を目標とするが、少額貸付以外の通常貸付の占有率向上を目指す



営業債権残高と固定費率の推移

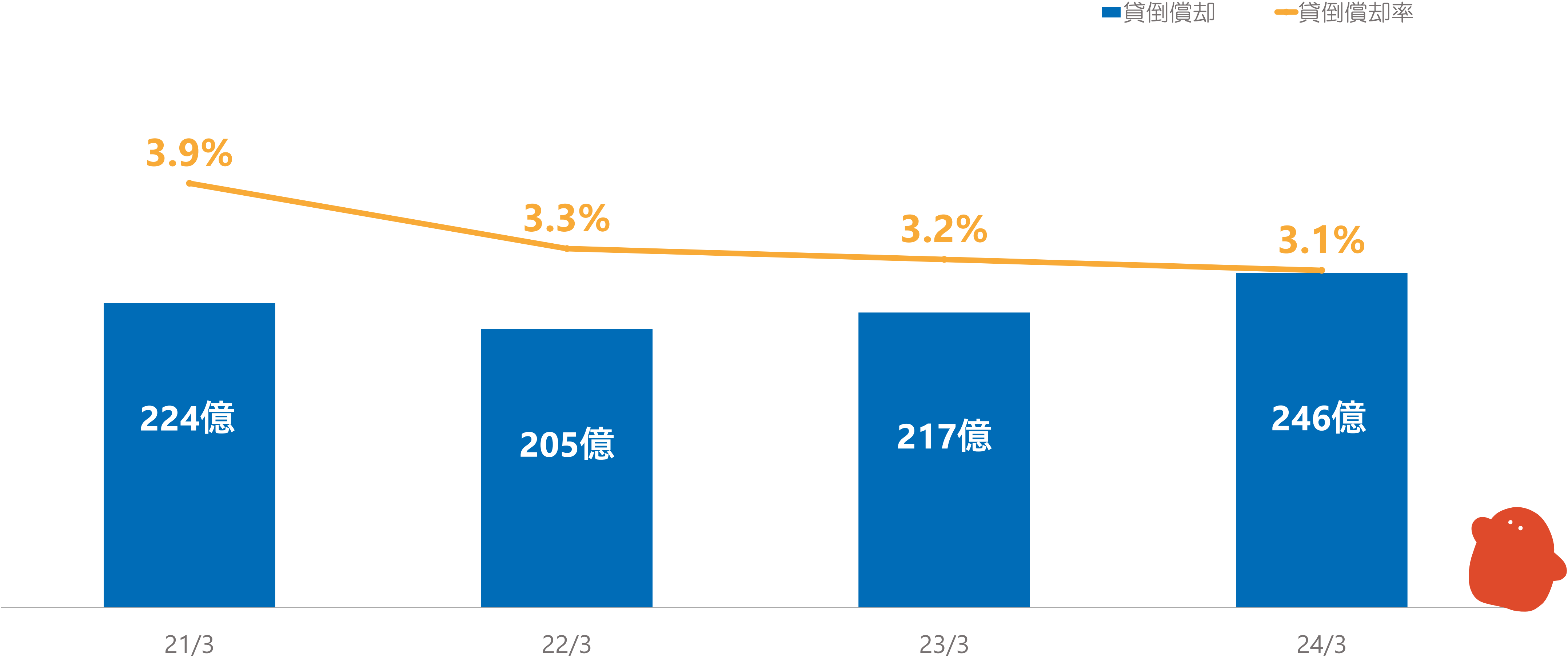
● DXや内製化等の取組みにより固定費率は低下



※固定費の定義 = 金融費用・広告宣伝費・販売促進費・貸倒関連費用・支払手数料・利息返還関連費用・消費税を除いた費用

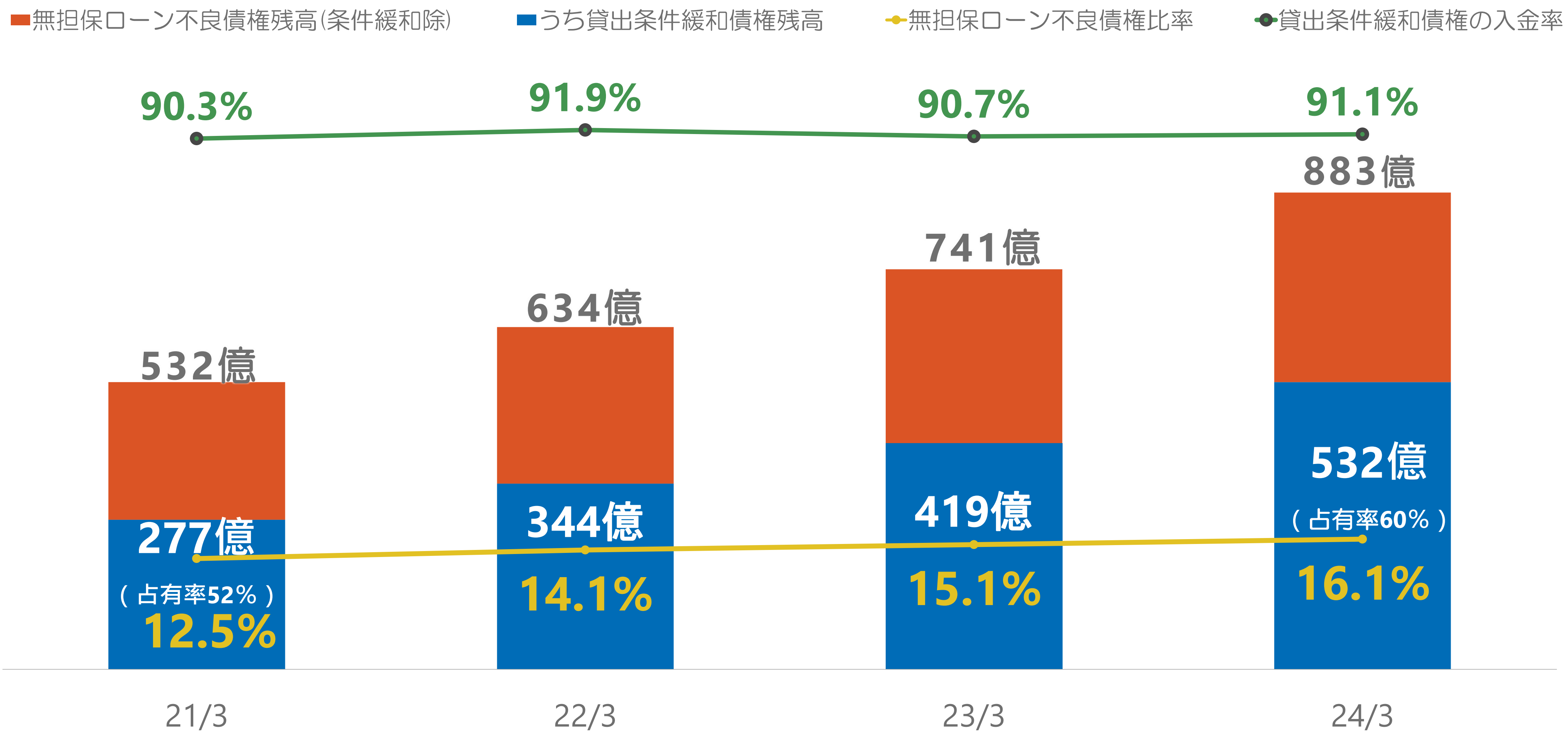
不良債権/貸倒償却

- 貸倒償却は営業債権残高増加に伴い前期比13.3%増の246億円となったが、償却率は3.1%と安定



不良債権/無担保ローン不良債権

- 入金率の高い和解債権（貸出条件緩和債権）の増加を主要因として、無担保ローン不良債権比率は1.0pt増の16.1%となった（滞留する和解債権の完済が進めば、不良債権比率は安定する）



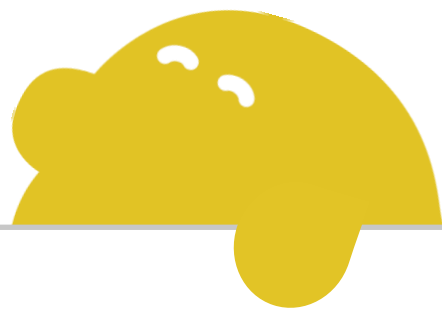
※1 2021年3月期第4四半期より、「延滞債権」に含めていた「定期的に入金がある和解債権」を、より実態に即した「貸出条件緩和債権」に含む

※2 2022年3月31日に「特定金融会社等の会計の整理に関する内閣府令」の「不良債権に関する注記」が改正されたため、同府令の改正後の区分等により表示

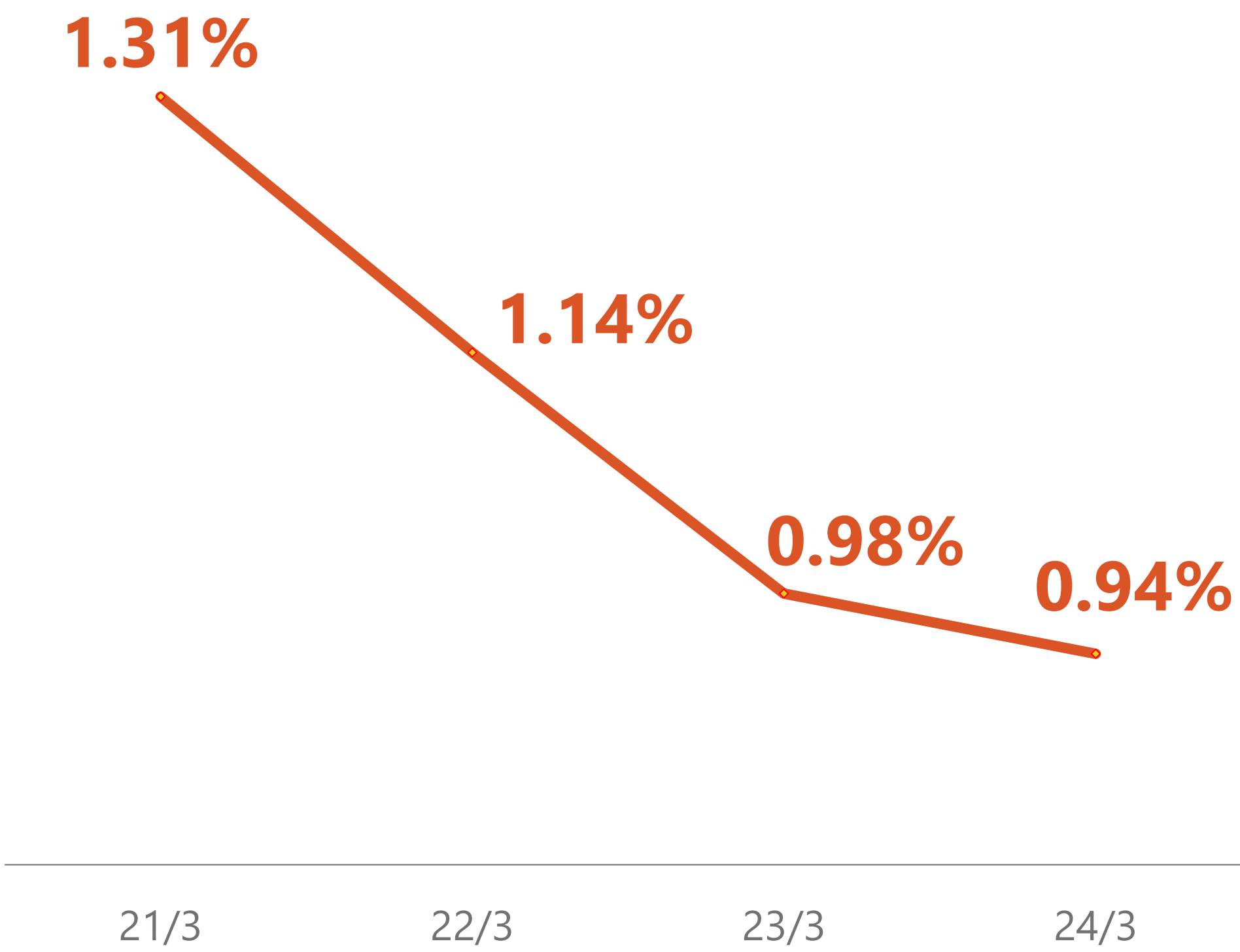
資金調達

- 市中金利は上昇トレンドも、24/3期は外部格付の向上によって、調達金利は前期比で低下

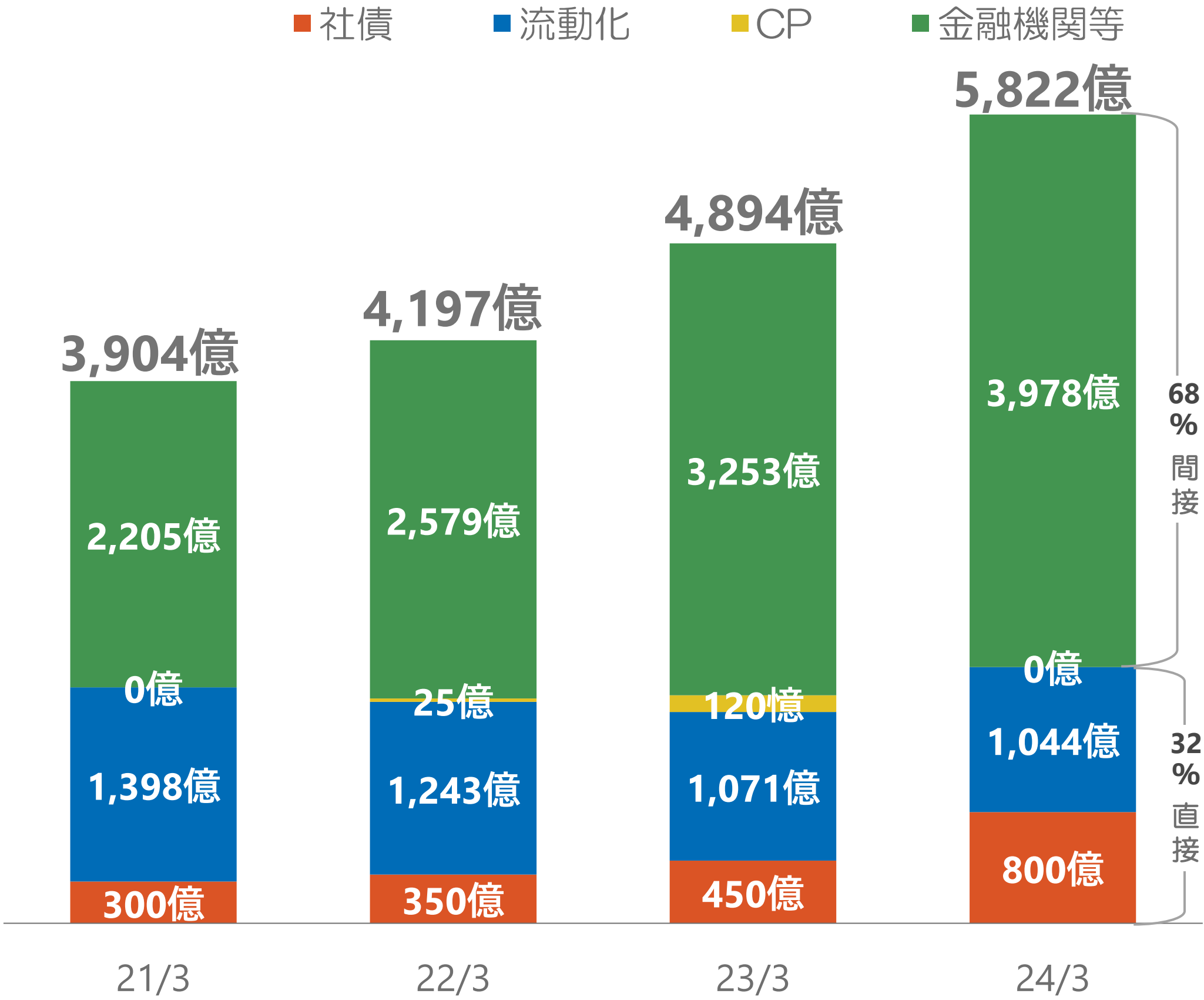
※信用格付の向上 23年12月 JCR : BBB+ ⇒ A-、24年3月 R & I : BBB- ⇒ BBB



調達金利



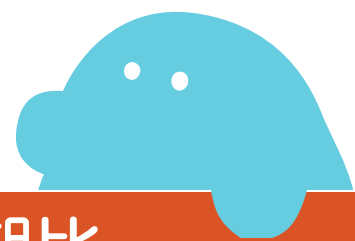
調達金額





⑤ ライフカード決算概況

営業実績



単位：百万円		23/3	24/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業債権残高		170,476	175,334	4,857	2.8%
営業貸付金残高		32,384	31,672	-711	-2.2%
キャッシング		23,289	22,708	-580	-2.5%
割賦売掛金残高		107,220	111,725	4,505	4.2%
リボ・分割		52,024	53,652	1,627	3.1%
信用保証残高		29,022	29,568	546	1.9%
新規発行数（千枚）		478	465	-13	-2.8%
プロパーカード		159	153	-6	-4.1%
提携カード		318	311	-6	-2.1%
有効会員数（千人）		5,141	5,051	-90	-1.8%
プロパーカード		1,376	1,373	-3	-0.2%
提携カード		3,765	3,678	-86	-2.3%
貸倒発生額		3,544	4,083	538	15.2%
利息返還に係る貸倒以外の貸倒額		3,401	3,977	576	16.9%
貸倒償却率		2.1%	2.3%	0.2pt	—
利息返還に係る貸倒以外の貸倒率		2.0%	2.3%	0.3pt	—

決算概要



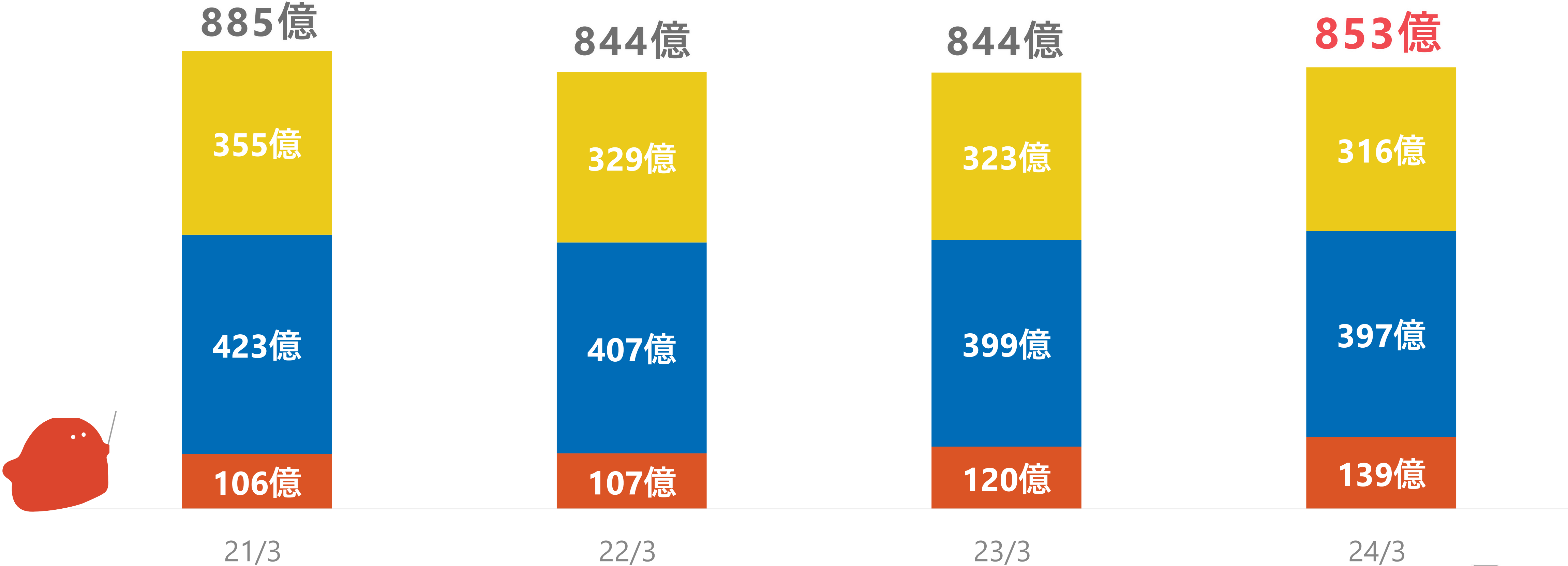
単位：百万円		23/3	24/3	前期比 増減額	前期比 増減率
営業収益		35,711	37,714	2,002	5.6%
信用購入あっせん収益		20,440	21,559	1,118	5.5%
営業貸付金利息		3,653	3,721	67	1.8%
信用保証収益		1,842	1,908	66	3.6%
その他収益		9,774	10,524	750	7.7%
営業費用		34,414	36,852	2,437	7.1%
金融費用		1,111	1,147	36	3.3%
貸倒関連費用		4,530	5,092	561	12.4%
利息返還関連費用		-	-	-	-
広告宣伝費		2,029	2,718	689	33.9%
人件費		5,006	5,176	170	3.4%
その他費用		21,736	22,717	980	4.5%
営業利益		1,296	861	-435	-33.6%
経常利益		1,419	947	-472	-33.3%
当期純利益		911	363	-547	-60.1%

リボ・分割・キャッシング残高推移

- リボ残高の減少に歯止めがかったことに加え、分割残高は好調に推移

残高推移（営業債権ベース）

■ 分割 ■ リボ ■ キャッシング

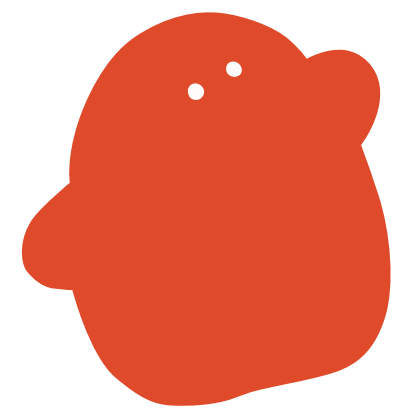


プロパーカードのLTV向上

- LTV向上施策によって、稼働会員ベースの直近実績で試算する **将来LTVは目標の70千円に到達**
- 更なる施策にて利益水準の向上を図るとともに、積極的なプロモーションにて新規稼働会員の獲得を強化していく

将来 LTV

稼働会員ベース



70,000円

【参考】過去LTV実績（有効会員ベース）

2023/3 **25,000円**（過去実績にて算出）

将来試算 **40,000円**（直近実績にて算出）

実施施策

- 請求資料有料化
- ETCカード普通郵便化
- ポイントプログラム改定
- リボ・分割手数料引き上げ
- マークアップ手数料見直し
- 分割支払回数の延長

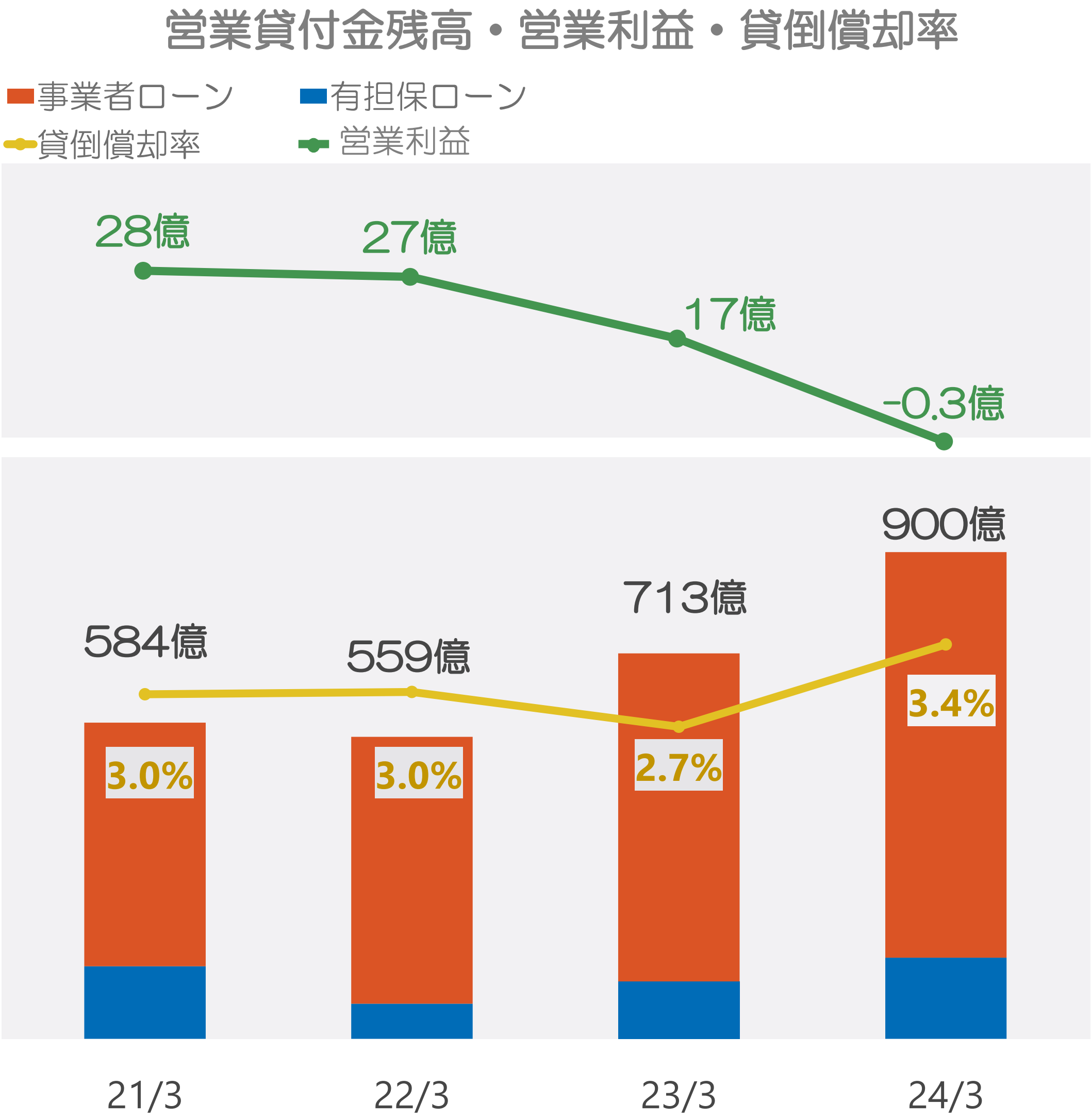


⑥ グループ各社決算概況

AGビジネスサポート（事業性金融事業（有担保・事業性ローン））

- 資金需要の回復により新規獲得が好調に推移し、営業貸付金残高は前期比26.1%増の900億円
- 一方、コロナ救済策の終了影響を主な要因とし、貸倒関連費用が増加し営業利益は▲0.3億円

単位：百万円	21/3	22/3	23/3	24/3	前期比 増減率
営業貸付金残高	58,475	55,928	71,364	90,019	26.1%
有担保ローン	13,466	6,578	10,681	15,037	40.8%
事業者ローン	45,008	49,349	60,682	74,982	23.6%
新規獲得件数	2,277	4,471	7,432	10,010	34.7%
有担保ローン	193	252	398	715	79.6%
事業者ローン	2,084	4,219	7,034	9,295	32.1%
口座数（千）	25	26	29	34	17.2%
貸倒償却率（%）	2.7	2.9	2.6	3.3	0.7pt
営業収益	6,485	6,430	7,732	10,310	33.3%
営業利益	2,848	2,762	1,798	-38	-
経常利益	2,868	2,773	1,808	-41	-
当期純利益	1,737	1,691	1,131	-307	-



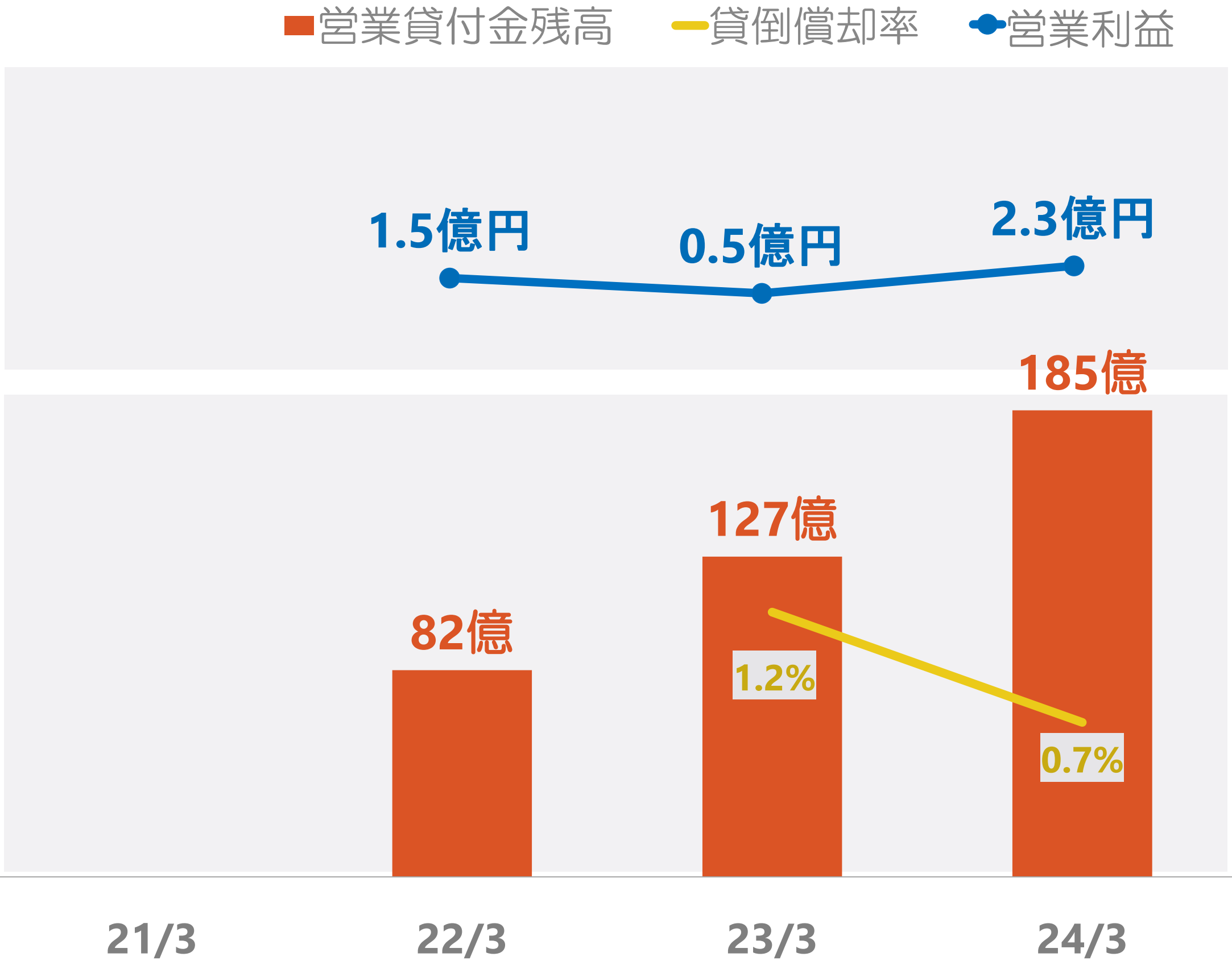
※ 診療報酬等担保ローン事業は2021年7月よりAGメディカル株式会社が承継

AGメディカル（事業性金融事業（診療報酬等担保ローン））

- 順調な新規獲得を背景に、営業貸付金残高は前年比44.8%増の185億円
- 安全性の高い診療報酬・介護報酬担保ローンによって、貸倒償却は低位安定

単位：百万円	21/3	22/3	23/3	24/3	前期比 増減率
営業貸付金残高 (有担保ローン)	-	8,201	12,793	18,524	44.8%
新規獲得件数 (有担保ローン)	-	159	303	387	27.7%
口座数（件）	-	477	685	971	41.8%
貸倒償却率	-	-	1.2%	0.7%	-0.5pt
営業収益	-	488	892	1,358	52.2%
営業利益	-	151	57	235	312.1%
経常利益	-	147	57	234	309.4%
当期純利益	-	96	17	150	782.4%

営業貸付金残高・営業利益・貸倒償却率

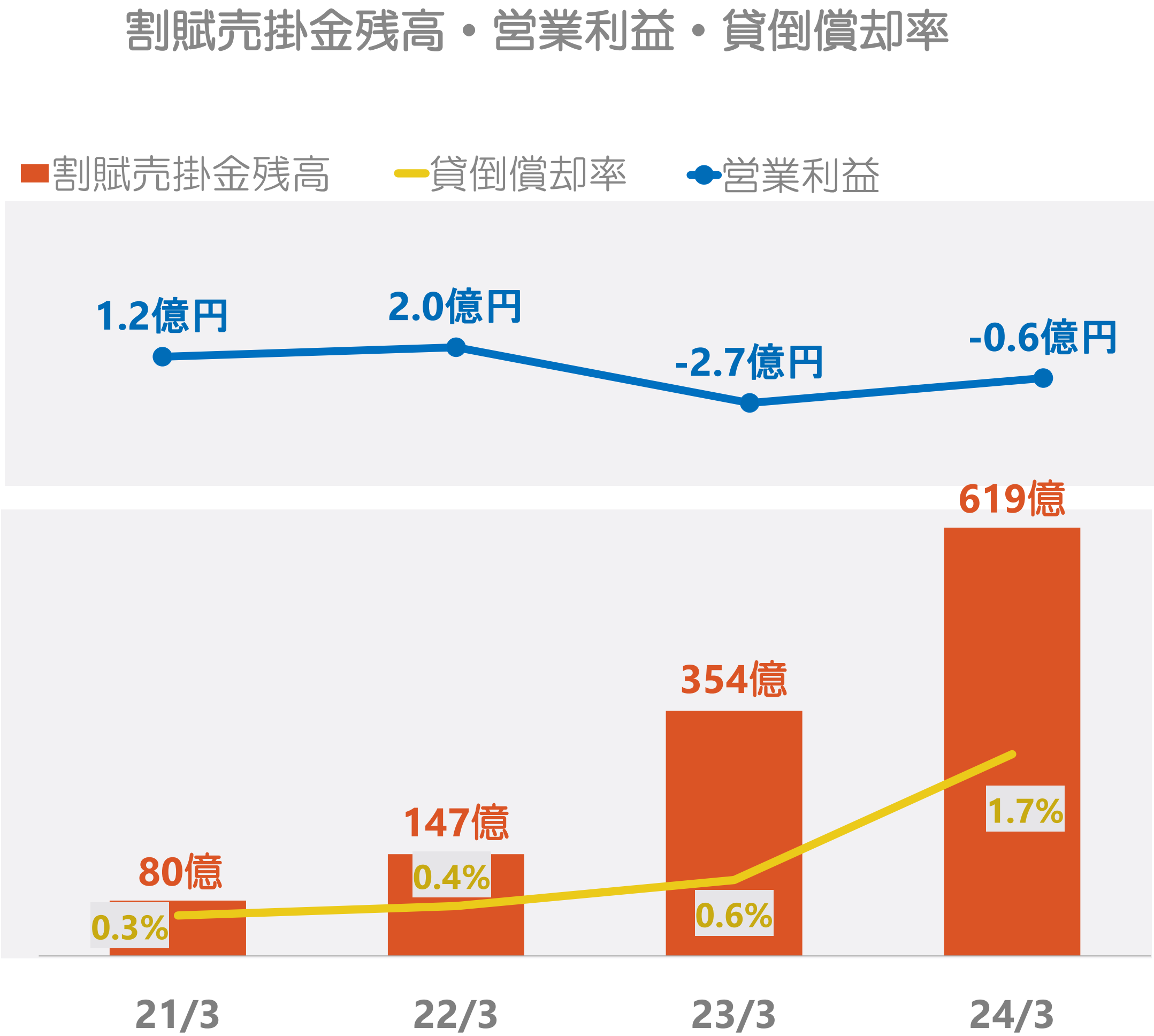


※ AGビジネスサポートより、診療報酬等担保ローン事業を2021年7月に承継
※ 下線部分の単位を訂正しております(千⇒件)

AGペイメントサービス（個別信用購入あっせん事業／後払い事業）

- 好調な加盟店開拓を背景に、割賦売掛金残高は前期比74.4%増の619億円
- 2024年1月にAGギャランティーはBNPLを取り扱うAGミライバライと合併し、AGペイメントサービスに名称を変更

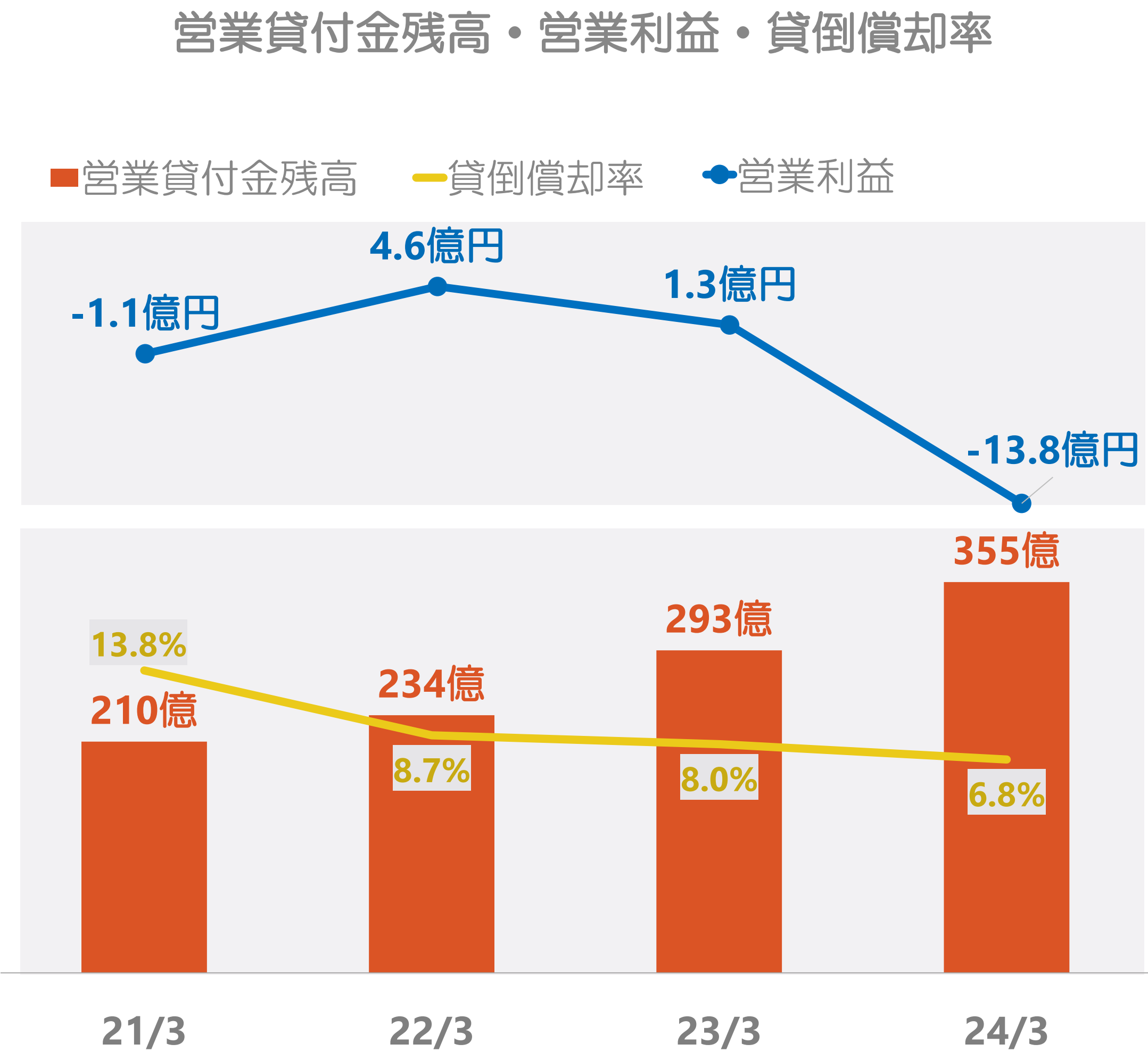
単位：百万円	21/3	22/3	23/3	24/3	前期比 増減率
割賦売掛金残高 (個別信用購入あっせん)	8,096	14,739	35,494	61,902	74.4%
買上 (後払い決済)	-	12,022	19,102	12,898	-32.5%
貸倒償却率 (個別信用購入あっせん)	0.3%	0.4%	0.6%	1.7%	1.1pt
営業収益	1,230	1,970	3,568	5,435	52.3%
営業利益	123	206	-271	-67	-
経常利益	124	219	-258	-63	-
当期純利益	32	73	-519	-833	-



AIRA&AIFUL（タイ王国で消費者金融事業）

- 新規獲得が好調に推移し、営業貸付金残高は前期比21.1%増の355億円
- 営業貸付金残高の増加およびコロナ救済策の終了に伴う回収環境の悪化により貸倒関連費用が増加した結果、営業利益は▲13億円

単位：百万円	21/3	22/3	23/3	24/3	前期比 増減率
営業貸付金残高	21,068	23,418	29,343	35,547	21.1%
新規顧客件数	26,332	22,932	50,570	43,508	-14.0%
口座数*（千）	289	281	297	304	2.3%
貸倒償却率	13.8%	8.7%	8.0%	6.8%	-1.2Pt
営業収益	5,957	5,725	7,080	8,269	16.8%
営業利益	-118	461	134	-1,383	-
経常利益	-131	463	127	-1,368	-
当期純利益	-190	1,037	726	-1,087	-



※A&Aは12月期決算のため、通期累計期間は1月～12月の実績
※為替レート（タイバーツ）
B / S:20年度 3.44円、21年度 3.43円、22年度 3.80円、23年度 4.13円
P / L:20年度 3.42円、21年度 3.44円、22年度 3.75円、23年度 4.04円
※口座数に一部、完済口座が含まれていたため、23/3期以前の数値を修正しております。



7 参考資料

アイフルグループの事業

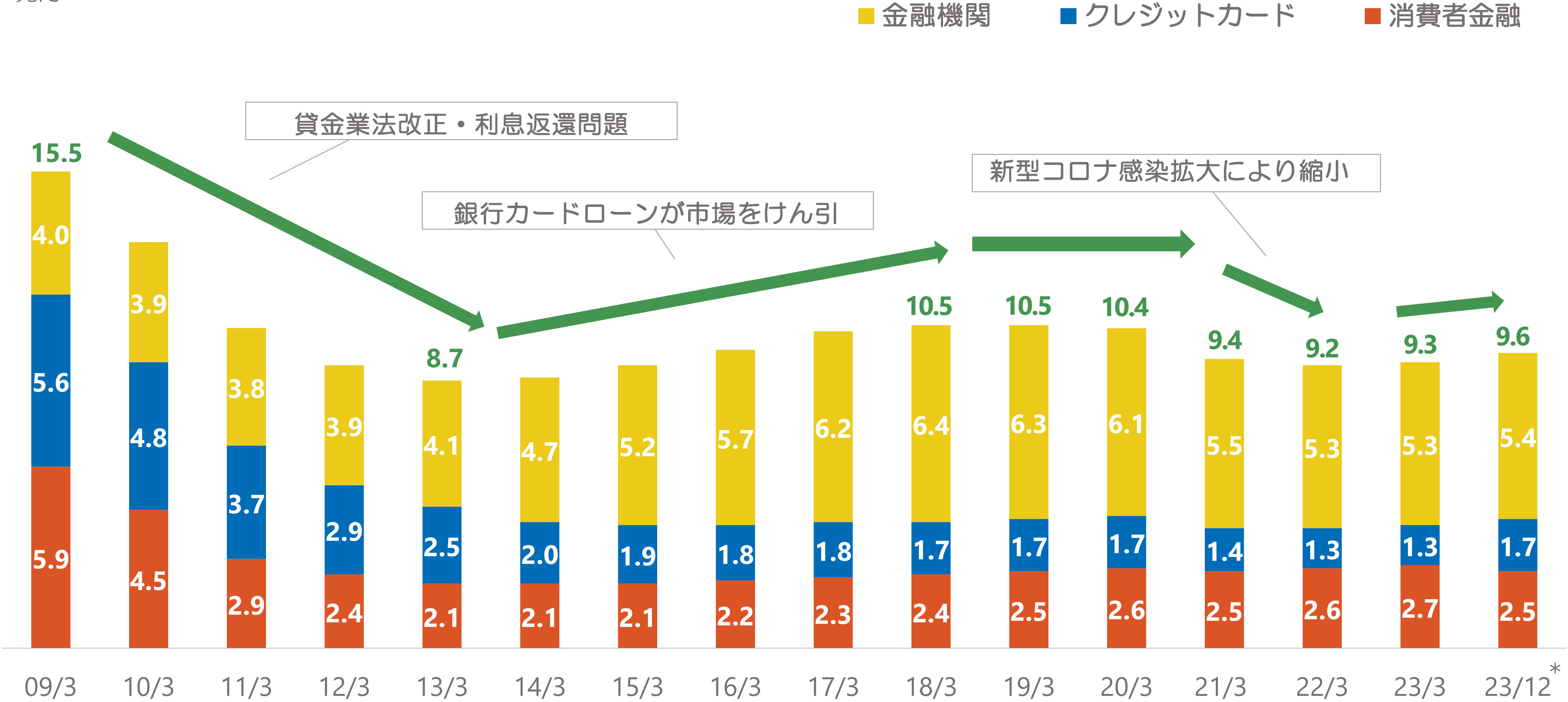
グループ全社一丸となって、**全ての顧客ニーズに応えるビジネスの創造**を目指す



ローン・保証  アイフル	事業者ローン  AG メディカル  AG ビジネスサポート	クレジット・保証 	個別信用購入斡旋・後払い決済  AG ペイメントサービス
クラウドファンディング  AG クラウドファンディング	ベンチャーキャピタル  AG キャピタル	サービサー  AG 債権回収	企業再生  AG パートナース
リースバック・家賃保証  AG 住まいるリースバック 	少額短期保険事業 	システム・エンジニアリング・サービス  	海外  AIRA & AIFUL (タイ王国)  REKSA FINANCE Anchoring your TRUST in our INTEGRITY (インドネシア共和国)

無担保ローン市場

単位：兆円



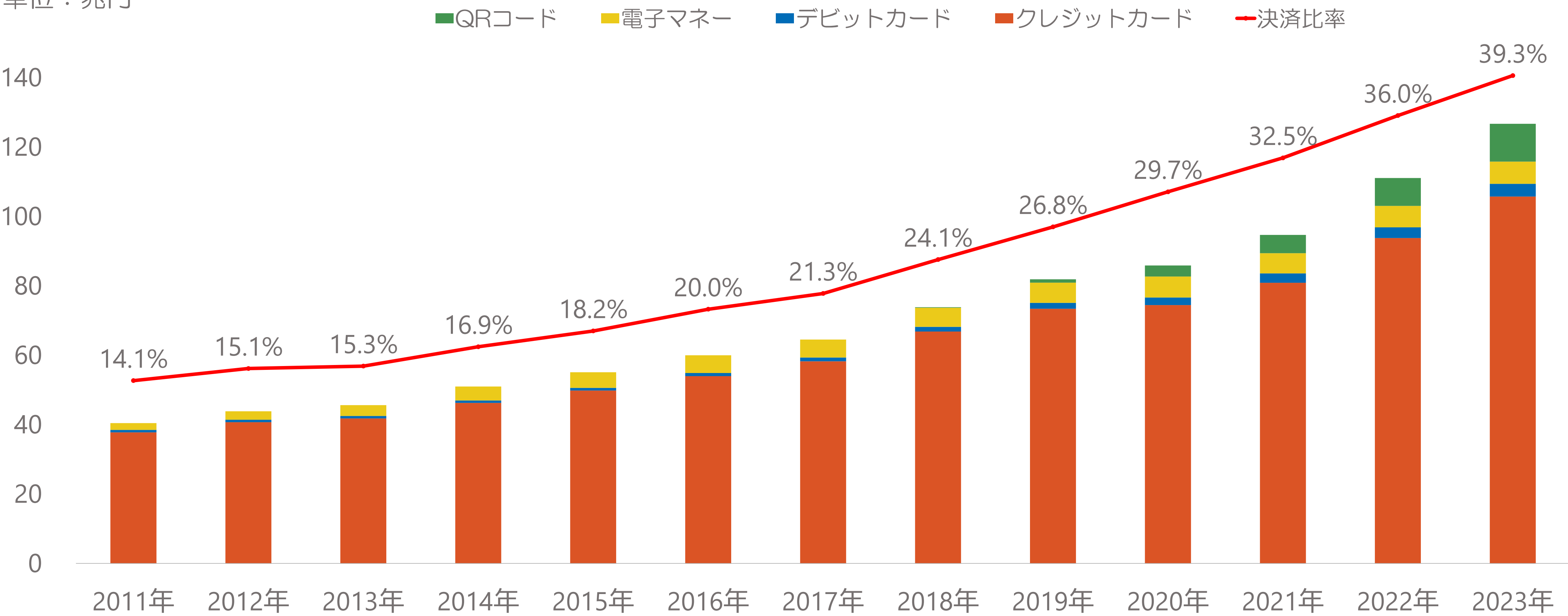
*2023/7 約3,000億円の残高を保有する消費者金融業者がクレジットカード業態に移行

キャッシュレス市場

- 2023年のキャッシュレス決済比率は39.3%と順調に推移、経済産業省は2025年までに4割程度、将来的には世界最高水準の80%まで上昇させる方針を提示

キャッシュレス決済額及び決済比率の推移

単位：兆円



— 本資料に関する注意事項 —

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。